

筑波大学オープンキャンパス

人間学群

教育学類・心理学類・障害科学類



2021

学群長挨拶

みなさん、筑波大学人間学群の大学説明会へ、ようこそ、いらっしゃいました！

今年度の説明会も、コロナ下での開催となり、平時のように会場で直接みなさんにお会いすることも、また、人間学群についても実際に体験していただくこともできず、大変残念に思いますが、オンライン上の動画や資料を通して、人間学群の魅力が、少しでも多く伝わることを、人間学群の教職員・在学生一同、願っています。

現在社会は、人工知能やサイバー空間などに象徴される **Society 5.0** の社会へ突き進んでいます。同時に、ポストコロナ時代を見据えた、ニューノーマルの時代とも言われています。このような新しい時代における大学での学修も、文系や理系を超えた総合的学びが一層求められ、社会も創造的発想や柔軟な思考を備えた人材を必要とすることから、大学における学びの内容も大きく変化しています。このような社会だからこそ、我々は、人間としてのあり方や生き様を問い続ける必要があります。筑波大学人間学群では、あらゆる人が共存し、一人一人がやりがいを感じられる新しい社会を築くための学問を追求しています。人間学群で追求する、人々が社会に生きる知識と思考を追い求める学問は、これからの人々と社会において大きな価値を有するものであります。

人間学群は、1975年旧人間学類として設立され、2007年改変により現在の人間学群に至っていますが、その歴史は、1872年設立された師範学校にまで遡ります。師範学校の設立から人間学群に至るまで、先達が目指したものは、「未知なる人間の真の姿を科学的に追求し、人間の本性やそのあり方を学際的な広い視野から究明する学問」でした。その後、大学における組織やカリキュラムなどの変革や変貌が繰り返される中で、人間を科学的に追求し、その本質を究明する人間学群の原点は、今なお変わることはありません。

人間学群は、現在、教育学、心理学、障害科学の3つの専門分野から展開されており、歴史と伝統に生まれ、その時代時代の使命と責任をはたすべく、これまで、教育、医療、福祉、行政、企業など、社会のあらゆる方面で、人々を支え活躍する大勢の人材を排出しています。

人間学群の大学説明会では、教育学類・心理学類・障害科学類の人間学群3学類の説明動画と在学生のみなさんが制作した案内動画、Q&Aやその他の資料などが載せられています。とくに、案内動画は、在学生のボランティアのみなさんが、コロナ下で大学に来られない状況が続く中で互いに連絡を取り合い、時間をかけて丁寧に一生懸命に準備してくれたものです。みなさんが知りたい情報や内容が、これらのコンテンツから見つかれば、この説明会への参加が、ご自身の進路や方向を決める大きな手助けになればと願っています。

これから社会を創造し牽引していくみなさん、是非人間学群でみなさんの感性を育み、知恵と発想力を鍛えてください。みなさんと人間学群棟で、お会いすることを心より楽しみにしています。

令和3年7月27日

人間学群長 鄭 仁豪

学生責任者挨拶

2021年度 筑波大学大学説明会へようこそ！

筑波大学人間学群に興味を持ち、このパンフレットを見て下さっている皆様、誠にありがとうございます。今年度、人間学群の大学説明会学生責任者を務めています、人間学群障害科学類2年の隅田、教育学類2年の滝口です。

今年度の大学説明会も、コロナウイルスの影響により、引き続きオンラインで開催する運びとなりました。実際に本学で開催される説明会を楽しみにして下さっていた方には、本当に申し訳ない気持ちです。しかし、このような状況下でも、皆様にとって有意義な説明会になるよう尽力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

まず、「人間学群」とはどのような組織であるのかを、簡単に説明させていただきます。人間学群は、教育学類・心理学類・障害科学類の3学類からなっています。また、各学類に所属する学生の数が少なく、筑波大学内でも比較的小規模の学群です。さらに、教育・心理・障害科学の分野は密接に関係しているため、1年次には学群全員で一緒に受ける授業が多くあり、そこに人数が少ないことも相まって、学群全体で繋がりが強いところが、本学群の特徴の1つです。

さて、昨年度同様、皆様と本校学生が交流を持つことのできない状況ですが、学生は皆様にできる限りの情報をお届けしようと、このパンフレットやホームページに掲載されている動画などを作成して参りました。パンフレットは、皆様が人間学群や受験内容、学生生活について、より詳しく知ることができるよう内容を吟味し、作成致しました。また、公開されている動画では、宿舍紹介やキャンパス紹介、皆様からの質問にお答えするといった、学生生活にまつわる多くの情報を取り上げております。これらを通して、少しでも人間学群に関する疑問を解消していただき、学生生活をより現実的にイメージしていただきたいと思っています。この大学説明会が、皆様の様々なニーズにお応えできていれば幸いです。

最後になりましたが、この度は時間を割いて大学説明会の企画に参加して下さい、ありがとうございます。このような難しい状況下ではありますが、皆様と新たな筑波大学を創っていく仲間となれることを、私たち一同心よりお待ちしております。

人間学群大学説明会責任者
人間学群障害科学類2年 隅田
人間学群教育学類2年 滝口

目次

【初めに】

- P.2 学群長挨拶
- P.3 学生責任者挨拶
- P.4 目次←今ココ

【私の合格体験記】

- P.6 英語
- P.8 国語
- P.10 数学ⅡB
- P.12 数学ⅡB・Ⅲ
- P.14 物理
- P.16 化学
- P.18 生物
- P.20 地学
- P.22 日本史
- P.24 世界史
- P.26 地理
- P.28 倫理
- P.31 教育学類推薦
- P.33 心理学類推薦
- P.35 障害科学類推薦
- P.37 心理学類後期試験
- P.39 障害科学類後期試験
- P.41 受験体験アンケート
 - 受験期の睡眠時間
 - 勉強場所
 - 当日の服装 etc....

【学生生活】

- P.55 学生アンケート
- P.60 学生宿舎について
- P.63 アパートについて
- P.67 グローバルヴィレッジについて
- P.70 自宅通学について

【終わりに】

- P.72 編集後記
- P.73 奥付

こちらは、人間学群1年生の皆さんの合格体験記・受験に関するアンケートの結果です。先輩からの情報・感想などを参考に、**自分なりの勉強法・対策を見つけて、頑張ってください!**

※ 入試の形式は状況に応じて変わる可能性もありますので、こまめに大学のHP等で確認してください。

筑波大学での生活について、人間学群1年生が記事を書きました。参考にしてみてください!

出身、サークル、アルバイト事情、オンライン授業の感想 etc... アンケートを基に書かれた記事です!



英語は楽しんだもの勝ち！

はじめに

皆さんはじめまして、心理学類1年の羽山と申します。私はもともと英語が苦手で、学校の定期テストでは平均点以下の点数しか取れなかったのですが、高3になる頃には英検準一級に合格することができました。今回はこの経験をふまえて、私なりの勉強法やアドバイスを書かせていただきます。

高2までにやるべきこと

英語は少し勉強しただけではできるようになりません。ですので、苦手意識を持ったまま高3になってしまうと大変な思いをすることになります。ここでは高3になるまでにやるべきことを紹介していきます！

<英単語・英熟語の暗記>

単純な知識問題だけでなく、長文を読むためにも英単語と英熟語の暗記は大切です。通学時間やスキマ時間などを利用して勉強するとよいと思います。また、一回で覚えるのではなく、何回も繰り返して覚える方が忘れにくいので、繰り返し勉強するようにしましょう！使用する参考書は、有名どころなら正直どれでもいいと思います。自分に合ったものを探しましょう。ちなみに私はシス単を使っていました。

<英文の音読>

すでに習った文章や簡単な文章でよいので、何回も音読して暗唱できるようにしましょう。これをやることによって基本的な英文法や定型表現を身に着けることができ、長文読解に役に立ちます。ただし、書かれている英語をただ読むだけでは意味がありませんので、読んでいる部分の意味を理解しながら音読するようにしましょう！

共通テストの対策

人間学群の共通テストの配点は確認しておきましょう。きちんと対策をすれば高得点を取ることができる難易度なので、以下のことを参考にしてきちんと対策したいですね。

<リーディング>

人間学群での英語の点数は、リーディングの割合が大きめで圧縮されます。そのため、リーディング対策を重視する必要があります。

共通テストの英文の難易度は標準的ですが、試験時間に対して文章量が多いです。じっくり読んでいると時間切れになってしまうので、必要な部分を探し出して読み取る力が重要になってきますが、なかなか難しいですね。そこで私は**設問を先に読んで問われてい**

る内容を把握してから英文を読むという練習を繰り返しました。はじめは大変でしたが慣れてくるとコツをつかめるようになり、問題を解く速度が上がりました。試行調査や予想問題などをたくさん解くことで**共通テスト独特の形式に慣れる**ことが一番大切だと思います。

<リスニング>

リスニングはリーディングに比べると配点が低いですが、音声が一度しか放送されない部分もあるので、確実に聞き取る力が必要です。

対策としては、標準的な難易度のリスニング教材の速度を速めて聞き取る練習をするか、難しいものを通常で練習するのがよいと思います。この際、**少し周りの音が聞こえてくるような状況で練習することをおすすめ**します。というのも、本番の試験会場が静かであるとは限らないからです。隣の人の鉛筆の音や外を走る車の音が聞こえることは十分にあり得ます。実際に私は本番で同じ試験教室だった人がいきなり声を出したために再試験になるという経験をしました。これはレアケースだと思いますが、本番で何があってもいいように、あえて周りの音が聞こえる状態で練習しておくとうよいと思います。

二次試験の対策

二次試験は長文読解と英作文・整序問題で構成されています。いずれも難易度としては標準的ですが、その分ケアレスミスが命取りになってきます。

長文読解の対策としては実際に過去問に取り組んでいく中で自分のミスの傾向や苦手な部分を見つけ、そこを集中的に勉強することです。例えば私は理系的な内容の英文よりも文系的な内容の英文の方が苦手だったので、筑波大学の過去問に加え、他大学の文系的な内容の英文をたくさん読むようにしました。

英作文は、例えば“**I have a couple of reasons.**”という表現を使う、というようにあらかじめ型を決めておくとう書きやすいと思います。また、参考書などで使えそうな表現を見つけておくとうよいです。

さいごに

ここまで読んでいただきありがとうございました。自分に合っていると思った勉強法があったら参考にして頂けると嬉しいです。

タイトルにもあるように、英語は楽しみながら勉強した方が身につくと思います。コロナによる影響でまだまだ不安な日々が続くと思いますが、英語だけでも楽しいと思いつながら勉強することができれば気持ちも大分変わってくるのではないのでしょうか。人と比べるのではなく、過去の自分と比べて成長を感じることができれば自ずと楽しいと感じるようになると思います。そのためにも地道に頑張りましょう！ **皆さんが合格できることをお祈りしています。**

担当：羽山

国語で受験すること

私は心理学類の国語受験者だ。国語の受験体験記の執筆を依頼されてこの文章を書いている。一応ピカピカの大学一年生である私からひとつ言えるのは、我々大学生という生き物はめっちゃくちゃパソコンを使うということだ。私も慣れない手つきでタイピングをカタカタやっていたら日常的に指が痙攣するようになってしまった。オープンキャンパスに来ているような青春真っ只中の諸君は早いうちから文字を打つ練習をしておくことをおすすめする。あるでしょうそういうの。寿司が流れてくるのとか。

〈はじめに〉

勘のいい諸君はもうお気づきかもしれないが、この私、合格体験記に何を書いたらいいのかあまり理解していない。受験したときの記憶自体が薄れかけているし、問題の傾向なんて、私がここで敢えて書かなくても、諸君らの町の本屋さんでひときわ目立つ真っ赤なコーナーに行けば、筑波大学の過去問はすぐ見つかるであろう。そういうわけで、ここでは**私のごく個人的な受験論**を語らせてもらう。お役に立てれば幸いである。

〈現代文〉

とにもかくにも問題を解く。それで点が取れるなら心配ないだろう。だが、もし今の自分の得点に満足がいけないのであれば、「構造を解く」「説明的に説明する」の二点を意識するといいかもしれない。

まず、「構造を解く」。現代文は、普段我々が日常生活で慣れ親しんでいる言葉で書かれているが故に、「まあこんなの勘で解けるんじゃない」と思われがちである。しかし、日常の延長で解けるものは大学入試には出ない。我々が普段使っている言葉は要素も、その関連性もごく単純だ。入試の国語が君にとって「わからない」とすれば、それは、「一言では表せない要素」「複雑に絡み合った関係性」の二つに道を阻まれているのだと思う。これはよく受験国語界で言われることだが、現代文に限らず、国語の問題は5W1Hという基礎的な部分の把握がめっちゃくちゃ重要である。というか共通テストの評論文などではそれがもろに訊かれている。書いてあるものが何なのかという「要素」の把握。それが時間的、空間的、論理的にどんな風にはほかの要素と関わっているのか、という「関係性」の把握。直観ではなく、構造を読むこと。私の場合、勘で解くのをやめてこれを意識するようになったことが、問題の解き方を変えるひとつのターニングポイントだった。

では二つ目、「説明的に説明する」とは何か。文字通りである。「あれ、この問題わかったのに、記述だと点が取れていないや……」という経験はないだろうか。それはまさに説明が不足していたのだ。日常会話では、自分の説明に不備があっても相手に訊き返してもらえる。それに字数制限が無い。字数制限は、制限でありながら「なんか書いてるうちに字数は十分になったから、これでいいか」という油断を与えうる、受験国語の罠なのだ。

採点者は行間を読んでくれないし、諸君に「これどういう意味ですか」と聞いてくれたりしない。誰が、何を、どうしたのか。先ほども述べた「構造」を簡略化しつつその本質を失わないように書かねばならないのである。「そんなこと言ったって……」とお困りの諸君に朗報だ。諸君の近くにはおそらく、強力なお助けマンがいる。先生だ。先生に添削指導を頼み込むことをお勧めする。私は高校と予備校でそれぞれの先生に添削指導を受けていた。現代文を一人で解いて自分で採点しているとどうしても脳内で勝手に内容を補完してしまいがちであるから、第三者の目をどしどし利用するといいい。ちなみに私は先ほど「本質を失わないように」などと小賢しいことを書いたが、実際のところ採点者は機械的に「要素と構造」を見ているらしいので、構造がめちゃくちゃでも要素を捉えていればその分の点は入るようだ。文章を読んで意味が分からなかったときは、とりあえず要素だけでも書いて、後は適当に繋いで文を作ってしまう。一点でも稼げればいいのだ。大丈夫。諸君が「意味わかんねえな……」と思っている文章は、ライバルたちにとっても、だいたい意味わからないから。

〈古文〉

単語と重要事項を覚えること。これは**私が**第一に取った対策である。初手で「和歌の解釈」とかやってる人見たことないので、みんな最初は単語やってるのだと思う。古典が難しいのは覚えなくてはならないことがたくさんあるからであり、逆に覚えてしまえばその構造はさほど難しいものではない。現代文でやったことを応用すればいいというわけである。

ちなみに、いろいろな過去問を解いていると、たまに「こんなんわかるわけないじゃん」という感じのしっとりした心情読解なんかが出てくるが、そういうのもだいたい和歌の修辭や、単語に掛けられた別の意味などを知っていれば解ける。そう、古典は「知ってれば解ける」のオンパレードなのである。ちなみに私はゴロゴゴを使って勉強していた。それ以上のことは特にしなかった。知ってなくてもそこそこ解ける人は、古文以外に力を注ぐといいかもしれない。

〈漢文〉

どんな対策をしたのか全然記憶に無いし、二次試験で出たかどうか覚えていない。きちんと漢文を学びたい人は予備校講師の YouTube チャンネルなどを観ることをおすすめする。余談だが受験期の私は YouTube で勉強動画をよく観ていた。たまには猫の動画とかも観ると癒しになるので良いと思う。

どうだっただろうか。正直に言うと、合格体験記の正しい書き方が分からないので、個人的な感想を述べているだけになっているとは思っている。参考になるような情報はあったらどうか。あったら幸いです。

では、諸君の健闘を祈っている。

担当：(匿名希望)

数学選択しか勝たん

〇はじめに

こんにちは、障害科学類1年の永井です。タイトルを見てなんて偏った意見なんだと思われた方もいらっしゃるかもしれませんが、文系でかつ数学が苦手ではない方には自信をもって**数学選択しか勝たん**と言いたいと思います（※個人の意見です）。また私は英語と数学ⅡBで二次試験を受験したわけですが、はじめに言っておくと私、一年浪人しています。最初この合格体験記の依頼を受けた時、現役での合格を目指している高校生は現役で筑波に落ちた私の話など参考にしたいのだろうか、と少し考えました。しかし二年連続同じ科目で同じ学類を受験し、一年間筑波大学に受かるためだけに勉強してきた私だからこそお伝えできることもあるのではないかと思うので、私なりに私にしか伝えられないことを伝えられたらなと思います。ぜひ最後まで読んでくれると嬉しいです。

〇なぜ「数学選択」を推すのか

「文系だけど国語が苦手」という人は意外と多いのではないのでしょうか。実際私もそうです。私は特別支援の教員になりたいのですが特別支援教諭の資格を取ろうとすると大抵は「教育学部」というところに行かなければなりません。そして「教育学部」を受験するには国語が必要です。私も浪人時代に日本全国の国公立を調べつくしましたが特別支援教諭の資格が取れるかつ前期試験で国語を使わなくていいのは筑波大学くらいだったと記憶しています。英語ともう一つ、自分の得意教科で勝負できるのです。ではなぜ、その「もう一教科」に数学を推すのか。その理由は一つです、筑波の数学ⅡBは**基礎がしっかりしていれば非常に点を取りやすい**からです。個人的な意見になってしまうのかもしれませんが私は社会で記述を書けるだけの知識を詰め込んだり、伸びづらい国語を頑張ったりするより、数学を選んだ方がよっぽど効率的に点を取れると思います。

〇「現役」と「浪人」での数学への取り組み方

私は現役の時模試・本番含め「E判定」しかとったことがありませんでした。ぎりぎりの状態だった高三の私が筑波の過去問を初めて解いたのはセンター試験が終わってからでした。うん、この時点で落ちそうな雰囲気かぷんぷんしますね（笑）センターが終わってからというもの私は毎日過去問や記述式の問題を解いていましたが、正直今思い返せばかなり脳死状態で解いていたと思います。脳死状態というのは基礎的なところ（基本的な解法や公式など）を確認せずにひたすら解いて、間違ったところもさらっとなら復習しないという感じですね。現役の時の私は「自分は数学が得意だ。基礎的なところはできていて足りないのは記述力だ。」そう思い込んでいました。しかしそんな勘違いにより本番簡単な数列の公式を忘れ、自分で時間をかけて公式を作り直すという世界一のタイムロスを食べました。そんな教訓から浪人期はひたすら基礎固めをしていました。公式はただ丸暗記するのではなく公式の証明の仕方まで理解し、たくさん問題を解くよりも一つ一つの問題を人に完璧に説明できるくらいまで極めることに重きを置きました。そんなこんなで

冬くらいに過去問を解いてみて私は驚きました。現役の自分だったら(1)で止まっていたのに問題によっては最後まで完答できたのです。この時基礎を固めることの大切さを深く実感しました。

○しかしやはり大切なのは共通テスト

ここまで数学への取り組み方などを話してきましたが根本的な話をするとう合格を大きく左右するのは共通テストだと私は思います。現役の時の私には嫌な話ですが現実的な話、筑波は二次試験での逆転がかなり難しいと思います。二次試験が比較的ほかの大学より簡単で得点率が高くあまり差がつかないので共通テストの上位の人たちがそのまま合格するというのが毎年の傾向です。「筑波の傾向をつかむために過去問をたくさん解かなきゃ」「記述力がないから練習しなきゃ」と焦る気持ちもちろんわかりますが、まずは共通テストに力をいれて障害科学類ならば八割超えることを目標に頑張るのがいいでしょう。私も正直な話、現役から浪人期までで二次試験は少ししか得点アップしていません。E判定でも受かる人はいますがA判定の方が受かるのは事実なので……マークミスも自分ほしな思っています意外とするので気を付けましょう(笑)

○最後まであきらめないこと

受験で一番大切なことはありきたりな言葉ではあるけれどやはり最後まであきらめないことだと思います。現役の時私は正直センターリサーチがE判定だった時点で口では言わなかったけれど半ばあきらめていました。諦めず二次試験の最後まで粘っていたら逆転もできたかもしれません。最後まであきらめないというのは試験中にも言えます。筑波の数学受験において一番覚えていてほしいことは「とにかく書く」ということです。私は試験のあとすぐに解答速報を見て、最後の問いで計算ミスしていたことに気づき正直「終わった」と思いました。でも実際点数開示を見てみると少しの減点にとどまりました。つまり答えが間違っている、最後まで解ききれなくても、たくさん書く、(数学に限らず)とにかく諦めず時間が終わるまでやりきれば合格できるのです。

○受験生のみなさんへ

ここまで偉そうなことをペラペラと言ってきましたが私もつい最近までみなさんと同じ受験生でした。毎日勉強していると「なんでこんなに頑張んなきゃいけないんだろう」と諦めそうになったり、模試の成績を見て落ち込んだり、ついスマホに時間を使っちゃったりすることがあると思います、というかあります。私もありました。でも受験勉強は長いけど受験というのは一瞬で終わります。終わってから「もっとやればよかった」と思っても時間は戻ってくれません。私も浪人期ほんとはつらくてもう一度生まれ変わったら絶対浪人なんてしないと何度も思いました。でも今大学がとっても楽しいんです。ほんとにほんとに楽しくて、ふと勉強してた去年までのことを思い出すと「あー、頑張ってたよかったなあ」ってほんとに心の底から思います。それはやっぱり頑張って、筑波大学に入れたからだし、頑張った自分自身や支えてくれた親、友達に感謝したいと思います。終わってしまったえば一瞬というのは受験をやり終えた人だから言えることです。今皆さんは受験を経験している途中でとてもつらくて長く感じると思うけど、終わりはあります。大丈夫です、時には休みながら最後まで頑張ってください、応援してます！

担当：永井

心理学を勉強したい且つ数学が好き、ならば筑波を受験せよ！

(i) 始めに

初めまして、心理学類の菅野です。文系科目が苦手だった私にとって理系科目で受験できる筑波大学の心理学類はとても魅力的でした。きっと、私のように理系科目が得意だけれども心理学を勉強したいという方はたくさんいらっしゃると思います。その様な方々のお役に立てれば幸いです。

(ii) 筑波の数学

筑波大学の数学は基礎をきちんと理解してさえいればほとんどの問題を解くことができます。ただ、それゆえに計算ミスなどのケアレスミスが命取りになる可能性があります。さらに、基礎を理解できていないことはもってのほかです。

(iii) 数学の基礎を理解するとは

先ほど筑波の数学では基礎を理解してさえいれば問題を解くことができると述べましたが、数学という学問で基礎以上に大切なことはないと思います。ただ公式を使って問題を解くことができるだけでは、数学の基礎を理解したとは言えません。数学の問題を解くとき、なぜこのような解法になるのか、なぜこの公式を使うのか、なぜこの公式が成り立つのか……ここまで理解することができれば基礎を完璧に理解したと言えるのではないかと思います。基礎を完璧に理解したらもう怖いものはありません。あとは経験値を積んで本番に臨むだけです。

(iv) 「何故」数学の基礎を理解することが大切か

数学の基礎を深く理解するために私は「なぜこの様に解くのか」「なぜこの公式が成り立つのか」などの疑問を必ず解消するようにしました。何故と疑問に思ったものを放っておくと後で後悔します。なぜなら、昨日わからなかった何故を放置することで、今解いている問題も解けなくなるからです。**数学の問題は一つ一つ違っている様に見えても、本質的には同じことを問うてきている問題が多くあります。**自分の中に生まれた「何故」を放置しているといつまで経っても本質的な理解は深まらず、問題は解けるようにはなりません。反対に、本質的な理解が深まるとほとんどの問題が解けるようになります。そのため、基礎の理解が大切なのです。

(v) 基礎を理解する方法

数学の基礎を理解するには一人だけで勉強することはお勧めしません。疑問に思ったことは先生に聞いてみてください。わからない問題は友人に尋ねてください。わかった問題も、友人と解法を共有してみてください。きっと「何故」が生まれます。そして、そ

の「何故」を解消するチャンスです。人は自分が理解できている方法でしか問題を解くことができません。友人と解法を共有することで、自分が理解できていない部分が見つかります。私は、この様な方法で自分の苦手な部分を把握し、基礎から勉強し直すようにしていました。

(vi) 受験勉強と試験本番で大切なこと

私は受験で最も大切なことはきちんと睡眠をとることだと思います。受験勉強はどこまでやってもキリがありませんから、睡眠時間を削って勉強し続けたい気持ちはわかります。しかし、睡眠時間を削ってまで勉強しても身につかないと私は考えています。また睡眠時間が足りなければ、適切な判断能力も失い、試験当日に判断ミスを犯してしまう可能性も高まります。睡眠時間を確保するために、まず自分が何を勉強すべきかじっくり考えてみてください。志望校と自分の学力との差を最短距離で埋めることが合格への近道だと私は思います。そうすれば睡眠時間も確保することができると思います。十分に勉強したら試験前日はきちんと寝てください。今まで自分が勉強してきたことを信じて、あとは自分のコンディションを最高レベルにまで持っていくことができれば結果はついてくると思います。

(vii) 最後に

筑波の数学は基礎を理解していれば解けることが多いので、油断している人が多いと私は思っています。簡単に見えるからといって油断せず、丁寧に勉強してみることが合格へ繋がります。今はまだ合格点から程遠い人も、地道に基礎を勉強し続けたらきっと良い結果がついてきます。焦らず、自分のペースで進んでください。今回紹介した私の勉強方法も一例に過ぎません。ただ、**自分に合ったやり方を見つけてそれを貫いたらきっと道は開けるはず**です。応援しています。

以上で私の合格体験記は終わりになります。誰か一人にでもこの合格体験記がお役に立てれば幸いです。皆さんが悔いなく受験勉強を終われることを祈っております。ありがとうございました。

担当：菅野

物理で合格を勝ち取るためには

はじめに

皆さんこんにちは。教育 1 年の木村です。最初に言っておきますが、あなたが理系なら私は数学で受験することをお勧めします(笑)。なぜなら数学のほうが受かりやすいからです。(数学のほうが時間が長いため焦らずに済む点など) 今年の教育に受かった人の中で数学受験者は四人いましたが、理科は私一人でした。もちろん母数が違うことなどもあるので一概にそうとは言えませんが、今でも私は数学のほうが楽だったかなと思っています(笑)。ですが物理を選んだからといって合格できないというわけではありません。

なぜ物理を選んだのか

私が物理を選んだ理由は「人と違うことをしたい」という思いがあったからです。理系の人ほとんどの方が数学で受験している中、物理選択で合格したのすごいねと思われたからです。というのは冗談で(笑)、物理選択は意外と穴場なんじゃないかなと思ったからです。コツさえつかめば高得点も夢じゃありません。コツといってもそんな大したものではなく、「基礎をしっかり固めて短い時間内でケアレスミスすることなく確実に点を取る」だけです。

注意点

一番の注意点は先ほども述べましたが、時間が厳しいことです。最初は時間を気にせず全て解いてみてください。時間をかけても解けなかった場合、基礎に戻ってしっかり復習をしてきちんと解けるようにしてください。私は過去問を 1 回目は傾向を掴むために使い、2 回目以降は時間を測って解きました。時間の対策をするために問題集の中からランダムに 3 つの問題を選んで(分野は異なるようにする)それを制限時間内で解くことをやっていました。

基礎を丁寧に勉強しましょう。筑波大学の物理でそこまで難しい問題が出ることはほとんどなく、基礎が固まっていれば解くことができます。そのためきちんと力学から原子の分野までの基礎を固めましょう。そのあとはたくさん問題を解きましょう。物理の問題はそこまでパターンが多くなく、問題をたくさん解いていくうちに解き方がすぐわかってくると思います。

筑波の二次試験はどの教科でも高得点勝負になります。そのため厳しいことを言うと 8 ~9 割は取るつもりでいるべきだと思います(個人の意見ですが)。(去年であったら簡単だったので 9 割弱は取りたいですね)時間が厳しいのでわかんなかったらすぐ飛ばして後で考えるのも大事だと思います。

勉強の比重

私は理系でしたが、物理しかちゃんと勉強せず、化学は途中で勉強するのをやめ数学ですらあまり勉強しませんでした。私は筑波大学の教育学類に受かることだけを考え、ほかの私立のことなどは全く考えませんでした。そのため理科も 1 科目しかやらず二次試験の対策も物理と英語の勉強しかやりませんでした。このやり方はリスクを考えるとあまりお勧めはしません。しかしほかの理系の受験生たちが数学を勉強するのに費やしている時間をすべて物理に使えると考えると悪くない選択肢だと思います。

物理に関して言うと、共通テスト一か月前まではひたすら物理の問題集と過去問をやりこみました。そして一か月かけて共通テストの対策をし、共通テストが終わった後は時間を測って解く練習を主にしていました。

最後に

最後になりますが、受験は最後まで分からないよということを言いたいです。私自身の話になりますが、私は共通テストリサーチで E 判定でした。二次試験当日、私は英語が終わった後、全然手応えがなく落ちたなと思いました。英語の後、物理の試験時間まで 5 時間近く昼休憩があります。他の理科選択者は皆ご飯を食べた後勉強していましたが、私は受験者控え室で筑波大学内の景色をぼんやり眺めていました。たぶんそれがよかったと思うのですが、その後の物理がとても気楽に出来たため、「全力を出し尽くせた」、「受からなくても後悔はない」と思えました。皆さんも受験ではいろいろ予測できないことがたくさん起こると思いますが、終わった後に後悔がないように全力で頑張ってください。

担当：木村

化学受験を考えている方へ

※こちらは 21 年度ではなく、20 年度入学の方の体験記になっております。

はじめに

はじめまして！ 心理学類 2 年の堀です。ここでは筑波大学の化学受験を少しでも考えている方に向けて、私の体験談をお話ししたいと思います。

なぜ化学を選んだのか

私が化学を選択した理由は得意科目であったからです。オールラウンダーな方であれば、筑波の各科目の難易度、出題傾向で選択するのもアリだと思います。人間学群はセンター試験が社会・理科一科目ずつで良いため、2 次試験で使わない科目は早々に捨ててしまう人もいると思います。私の場合、化学に絞ることで失敗が許されない状況に自分を置くのは少々緊張するため、選択の余地を残しておく意味で、センター試験は物理・化学の両方を受験しました。

また、私がお世話になった化学の先生が「化学はやった分だけ成績は伸びる。」とおっしゃっていたのが、私の化学の勉強への原動力と自信になりました。

問題の解き方と対策

全体

筑波大学の化学は大問 3 題からなります。大問 1 と大問 2 は主に理論・無機、大問 3 は有機の分野から出題されます。時間は 1 時間に対して問題量が多く、常に時間を意識しながら解く必要があります。全体的に標準的な問題が出題されていますが、たまに突出して難しいものや、意表を突くものがあります。まず初めに全体を見てから解くと時間配分や心持ち的にも良いと思います。また、少し考えても分からない問題は潔く後に回すのもポイントです。全部を解ききるにはギリギリなので、解ける問題と解けない問題を見極める力も必要です。

有機

有機化学では構造決定が割と多く出題されていると感じたので、構造決定の問題を沢山解いていくことで次の手順の予測が立つようにし、時間短縮へと繋げました。また、構造決定は芋づる式に解答が出てくるため、1 問のミスが致命的です。少しでも違和感があればすぐに計算間違いや読み間違いがないか確認しました。高分子については、計算も複雑で覚えるべきことが多く、私はどこまで暗記すべきか分からず、苦手意識がありました。問題を沢山解くことでよく聞かれるポイントを徐々に掴んでいきました。

理論・無機

理論・無機では、理論に重点が置かれています。無機は理論や有機の問題にも基礎知識として必要とされるので覚えるべき化学式は完璧に暗記しておきましょう。あいまいな暗

記やその場で式をつくるのは時間のロスであり、命取りです。また、教科書や問題集で沢山出てくるものの他に、頻繁には出てこないものも余裕があれば覚えておくといいと思います。

記述

筑波の化学では、字数制限付きの記述問題が必ずと言っていいほど出ます。質問の内容はどれも教科書に普通に出ているものが多いです。日頃から自分の愛用している教科書を熟読し、問題集に載っている記述問題で聞かれやすい内容、解答に含めるべきポイント、そしてまとめ方をしっかり練習すると良いと思います。

精神面

私はとても緊張しやすく、入試直前は手が震え、手汗は止まらず、開始の合図の後も目の前の問題に集中することができませんでした。これはまずいと思い、深い深呼吸をして、震える手をなんとか押さえながら問題を解ききりました。また、化学を受験される方は1科目の英語を受けた後、4時間程空き時間があります。私は音楽を聴いて周りを遮断し、自分が今まで使ってきた教科書をひたすら読むことで気持ちを落ち着かせていました。私のように緊張するタイプの方は、自分の中でルーティーンをつくったり、復習するポイントをまとめておいたりすると思います。

お世話になった参考書

化学重要問題集

全体を2周、2周しても解けなかった箇所を3周目。

福間の無機化学の講義

ただ暗記するだけでなく、どうしてそうなるのかを理解しながら覚えることができます。私は学校の教科書と併用していました。

鎌田の有機化学の講義

細かいようで重要なポイントが沢山書かれています。あいまいだった知識を確実なものにできます。

赤本

十数年分を解きました。夏に1年分やり、自分が到達すべきレベルを測りました。十数年前となると形式は変わりませんが、問題数がやや少なく、難易度も近年と比べると易しいです。なので、あくまで形式に慣れる目的で解くと良いと思います。

最後に

受験期間は先が見えず、いきなり猛烈な不安に駆られるときがあると思います。そんなときは、周りで仲間も共に頑張っていることを忘れないでください。不安な気持ちは抱え込まず、周りの人たちに口に出すことで少しは軽減されると思います。最後まで全力で！というのは私には無理でした。根詰めて勉強するのではなく、休憩をとり、ときに楽しみを見つけながら焦らずコツコツと目標に向かっていってください。 担当：堀

受験の心得

皆さん、こんにちは。心理学類一年の松本です。参考になることは少ないと思いますが自分なりの合格体験記というものを書いてみようと思います。文章を書くのは得意ではないのでつらつらと書きます。勉強に疲れたときに休憩も兼ねて何も考えずに読んでください。正攻法ではないので筑波大学に入りたい真面目な人は他の方のものを参考にすべきです。今まで問題集を買って最後まで終わらせられたことがない。そんな長時間集中するのができない、飽き性の人向けです。

勉強量について

それでは始めます。まず勉強量についてです。これまでの高校生活で基礎固めはまあまあできていると思います。初歩中の初歩ができないなんてことはないでしょう。(初歩からだという人はこんなもの読んでいる場合ではありません。勉強してください。)ということので高校の学習範囲すべてを復習する必要はありません。たしかに一から勉強するのは力になるし、気持ちの面でも安心できますが時間が足りません。何より僕のように集中できない人は最初の何日か続いたらマシな方で完璧にはできません。そして一日のうち勉強できる時間も他の人に比べて足りません。時間の面で長時間勉強できない人は圧倒的に不利です。それでも勉強を本腰入れて始めるのは高三の夏休みや夏休みが終わってからのスイッチが入ったタイミングで十分だと思います。九月十月は模試が続いて何個か入ってきて自分のできるところとできないところが浮き彫りになってくるのでそこが狙い目です。自分のできないとわかったところからどんどん潰していく、感覚的にはもぐらたたきと同じです。ここで大切なのは一回で確実にモノにする意識を持つことです。二度目はないと思ってください。叩くものがなくなった頃にはちょうど冬休みあたりになっていると思います。冬休み直前の共通テスト模試で偏差値 65 程度取れているのが理想ですが 60 程度あればいいと思います。この冬休みが結構大切です。大体の受験生はここで努力するので振り落とされないように必死で食らいついていきます。冬休み終わりあたりからは暗記です。ここで覚えきってしまえば共通テストは満足する結果が出るでしょう。あとは二次試験ですが筑波大学は二次試験が二科目しかありません。共通テストが終わってから一ヶ月程度ありますがそこは集中できないと思います。十月十一月に二次試験で使う科目はレベルを少し厳し目にして勉強するといいいと思います。時間の使い方はこれくらいです。

受験の心構えについて

心構えについてです。これは勝負した人勝ちというかメンタル強い人が勝つ世界だと思っています。なるべく気持ちを強く持ってください。どうしてもネガティブになったときは一度全てを投げ出す日を作るのもいいと思います。もしくはなにかタスクで頭の中を埋めてしまって余計なことを考えないのもいいと思います。当日は受験を楽しみましょう。

自分は二次試験の会場では自分が一番勉強できると思ってヘラヘラしていました。それはただの緊張感がないやつになってしまうのでやめたほうがいいですが慢心ではなく自信を持ってください。

生物受験について

ここまで書いて自分が生物の担当だということを思い出しました。生物は知識と活用の両方が求められます。問題を解くことが大切です。経験を積んでください。大森徹の最強講義 117 という参考書があるのですが、とても詳しく書かれていてわかりやすいのでおすすめです。問題集はどうせ最後までできないので使いませんでした。演習は過去問がおすすめです。筑波大学だけではなく東北大学、神戸大学などの国公立大学の問題を解いて量を増やしましょう。解くだけでなく解説も読むべきです。

受験当日の流れについて

下見は一度するといいと思います。当日は特別にバスが出ているので会場の位置だけ抑えておけば十分です。広いので迷子になるとどこがどこかわからなくなります。大学の位置を把握するのもそうですが単純に大学の空気を感じられるので楽しかったです。しかし建物にはほとんど入れませんでした。トイレに行きたくて苦労しました。前泊する人はつくばエクスプレスが通っている駅のそばのホテルなら十分間に合うと思います。つくばのホテルは八月ぐらいで埋まってしまうので早めにとってください。試験当日は午前中に英語と生物の試験の間が 4 時間ほどありました。そこで生物の最終確認ができます。昼寝をするのもあります。なかなかの緊張感のある会場ですが飲まれてはいけません。好きな曲でも聞いてなるべく楽しそうにするといいと思います。おすすめは RADWINPS のカタルシストという曲です。強くなった気になれます。

最後に

長々と色々書きましたが一つでもためになる情報があったらいいなと思います。後輩になるのを待っていますと言えるほど立派な先輩ではないしもしかしたら来年みなさんと同級生になっていることもあり得るのでやめときます。辛い一年になるかもしれませんが人の助けを借りて、時には休憩をはさみながら乗り越えてください。親への感謝は絶対に忘れないでください。表でも裏でも支えてくれているはずですよ。ここまで読んでいただきありがとうございました。勉強に戻ってください。

担当：松本

地球にわくわく

※こちらは 21 年度ではなく、20 年度入学の方の体験記になっております。

□はじめに

はじめまして。障害科学類の松本です。センター地学・二次地学選択で受験したので今回体験記を書かせていただきます。ただでさえ受験者数の少ないこの科目。読んでくれる人なんてはたしているのでしょうか。

さて、私は現役の時も障害科学類で地学受験をしましたが落ちました。その後 1 年間地学の勉強に多くの時間を費やして無事合格し、地学に対する理解度がかなり上がったと感じています。そんな私なりの勉強法やアドバイスを書いていこうと思います。

□筑波地学について

まず他の大学に比べると筑波地学の難易度自体はそれほど難しくないかと思います。教科書に載っているような基本的なことが正確に身につけているかが多く問われる印象です。複雑な計算問題や考察問題というよりは、高校地学で学ぶことを丁寧に身につけられているか、といった感じです。ただし、使いこなすことで色々な応用がきくので公式をおろそかにはしないでくださいね。

□文章力を鍛えよう

筑波地学の受験勉強においてとても大切なのが、文章力を鍛えることです。計算問題が少なかったと言いましたが、その代わり論述問題がいくつも出題されてきました。これがとても難しいのです。理解が中途半端だと何を書いているのか戸惑ってしまいます。問われていること自体はセンター試験と同程度かやや簡単くらいの難易度なのですが、自分の言葉で時間内に書ききるためにはたくさんの練習が必要となるでしょう。まずは過去問を解き、どのような要素が求められているのかを模範解答で確認しながら理解を深めましょう。余裕があれば、教科書などの索引を見て載っている語の説明を出来るか試してみるのもいいかもしれません。30 字程度の簡単なものも 100 字程度の詳しいものも書けるくらい理解できれば二次試験だけでなく共通テストにも役立つと思います。

□全体的な対策・勉強法

おすすめの勉強法はやはり教科書を読みこむことです。ただ、どうしても教科書だけではよく分からないこともあると思います。地学の先生が身近にいればたくさん質問しましょう。私も S 台のとある先生にとってもお世話になりました。図書館に行くこともおすすめします。関東圏の方は国立国会図書館に行くと地学系の英語の辞書があつて楽しいですよ。高校地学で曖昧に説明されていることについて、ちょっと難しい本を読むことで本質的に理解できることがあります。例えば私はどうしてもコリオリの力がイメージ出来ませんで

私の合格体験記 地学 (20年度)

したが、大気科学の専門書で計算式や詳しい意味を知ったことで一気に理解が深まりました。用語は正しく知っていないと論述で使いこなせませんし、もしかしたら嘘を書いてしまうかもしれません。色々な視点から知識を補強して正しく分かりやすい解答を作れるように頑張ってください。

他の科目がそれなりに出来ていれば、地学系の博物館やジオパークなどに行くのもおすすめです。私は二次試験の前に神奈川県博物館に行きましたが、大きな模型、本物の隕石や標本、日本各地の岩石など本の中でばかり見ていたものが目の前にあってとてもわくわくしました。自分で見ると知識も定着しますし何より楽しいです。あくまでも受験勉強の体で行くので罪悪感ありません。気分転換にいかがでしょうか。

もう少し真面目な話をすると、グラフや図表と計算式、用語とその意味、分野と分野を関連づけて総合的に理解することが大事です。例えば火山の形と成り立ち・マグマの性質を火成岩の成分と合わせて理解するようなことです。ちなみに理解という言葉は何回か使っていますが、「地学を履修していない人に正しく分かりやすく説明できる」くらいをイメージしてください。なんとなく分かっている、という状態は地学においてとても危険です。「なんでその現象が起こるの?」「どうしてこの計算式なの?」と小さな疑問から解決することで知識を確実に自分のものにしていくことが大切です。

□教材

センター試験は基本的に良問ですので、過去問を解いて各選択肢をよく調べることは二次対策としてもおすすめです。地学基礎の知識も地学にとっても役立つので基礎範囲の学習もよいと思います。また東大や京大、北大、東北大、信州大などは良質な問題文があると思うので機会があれば読んでみるだけでも学習の一助となるかと思います。千葉大地学も良問だと聞きますし、個人的に首都大学東京(東京都立大)の問題が筑波地学に近いと感じていますので余裕があればこの辺りの大学の過去問を解いてみるといいかもしれません。参考書があまり売られていないので他大学を紹介させていただきましたが参考になれば幸いです。お金はかかりますが、予備校の講習に参加するのもよいと思います。たくさん問題と説明を得られます。

□さいごに

地学を選択すると、一緒に勉強できるような友人がなかなかいないと思います。模試の結果も母数が少なすぎて正直参考になりませんし、一人でやらないといけないことも多く大変でしょう。しかし地学は本当に楽しくて面白い科目です。数少ない地学選択であることを誇りに思ってください。これを読んでくださった地学受験者さん全員が筑波大学に受かることを祈っています。この文章の題名「地球にわくわく」は、地球惑星科学、地惑を学ぶ人がたまに使う言葉遊びのようなものです。皆さんも地球にわくわくして試験まで頑張ってください。そして合格した暁には、つくばにある地質標本館と一緒に行きましょう。読んでくださった方が一人でもいらっしゃるのであれば感謝申し上げます。

担当：松本

経験の積み重ねが大切

はじめに

前期試験で日本史を選択した一人として合格体験記を執筆することになりました。特に優秀な学生でも、日本史が得意というわけでもありません。やってよかったことだけでなく、試験当日のことや後悔していることなども書きたいと思います。皆さんの勉強の参考にして頂ければ幸いです。

日本史試験について

筑波大学の日本史試験において最も苦勞するのは時間だと思います。過去問を解くときも時間を計って演習していましたが、時間ぎりぎりまで書いていました。試験時間の計画は事前に立てていて、演習では時間通りに進められるようになりましたが、本番で同じようにできるわけではありません。当日は緊張と寒さから体が固まって思い通りにできず、計画が狂ってしまいました。

本番でもできるだけ力を発揮するには、気持ちがとても重要です。「緊張しても集中できるメンタルや自信を持つためにはそれだけの練習や勉強が必要だ」とよく聞くとお思います。逆に、「努力した人ほど緊張する」と言う人もいます。私は「合格したい」と強く思う人なら誰でも緊張すると思います。本番で自分の力をしっかり出せる人は少ないかもしれません。

つまり、緊張していて本番で100%の力を出せなくても点を取るためには、知識や力をできるだけ多くつけておく必要があります。ここからは、私が実際に行った対策や後悔していることについて書いていきます。

試験の対策

先述した通り、私は日本史が得意ではありません。選択は国語と日本史で迷いましたが、担任の先生が日本史の担当だったことと、国語よりも成長できるように思ったので日本史に決めました。構想メモの作り方や本文の書き方、添削はすべて先生にお願いしました。

演習の中心は過去問ですが、始めたのは12月でした。もっと早くから始めることをおすすめします。最初は全く書けないと思います。私は添削で紙が真っ赤になりました。しかし、まだ授業で扱ってない範囲があっても、過去問を始めることは可能です。まずは全部の問題を一気にではなく、一つずつ解きました。先生と演習のペースを相談し、アドバイスをもらいながら過去問演習を行いました。

少し書けるようになったら、一問ずつでいいので時間を計って構想から論述までやるのを繰り返します。問題を少しずつ増やしていき、長時間集中する練習を行うことも大切です。範囲としては、時代もジャンルも様々です。過去問とそっくり同じ問題が出ることはありませんが、出る内容はある程度限られています。何年か解くだけでも、別の年の問

題で学んだ内容を盛り込めることが多々ありました。特に前半の問題では、模範解答に似たような内容が含まれていることが多いです。

基礎を固める

過去問演習以外にも、基礎知識をつける必要があります。私が主に使用していたのは、問題集と教科書です。問題集はひたすら解いていました。間違えた問題には付箋を貼り、何度も解くことで覚えていきました。論述や共通テストの対策で最も有効なのは教科書を活用することです。共通テストはほとんど教科書から出ますし、論述での表現を学ぶこともできます。私が論述で大切だと思うのは歴史の流れをつかむことです。教科書では歴史の前後関係が文章でとても分かりやすく書かれています。教科書を読むのは想像上に効果的ですが、大変だと思う人も多いと思います。二次試験の過去問に限らず、模試や問題演習で誤答した問題や復習の時に、教科書で確認するようにしてみてください。前後関係や歴史的出来事の原因などが把握しやすく、教科書を見ることを習慣づけると覚えやすくなります。

おわりに

日本史の論述試験で大切なのは、経験を積むことです。過去問演習を繰り返し、復習を徹底するというのは受験勉強の王道だと思いますが、筑波大学の試験勉強で特に痛感しました。実践を重ねることで、考え方や書き方が身についていくはずですが、私は過去問を始めたのが遅く、あまりたくさんできなかったのが後悔しています。何年分も解き、可能であれば二回目、または他大学の論述を行うことで力をつけられると良いと思います。

実は志望校を決める前も先生に、教科書を読むよう言われていました。しかし私が実際に教科書を本格的に読み始めたのは高校三年生の夏頃からで、その時に遅かったと感じていました。教科書を読み始めるのも遅かったのがかなり後悔しています。既習範囲だけでも早めに読み始めることをおすすめします。ただ読むのが苦手な人は、前にも述べたように復習で活用するのが良いと思います。

論述問題の場合、細かい知識よりも重要な語句を確実に説明できることが問われます。問題集や過去問を繰り返し、力を確実につけることが有効なはずですが、先生や友達からたくさんアドバイスをもらって、ぜひ頑張ってください。

拙い文章でしたが、ここまで読んでいただきありがとうございました。無理せず、できることを積み上げていってください、応援しています。

担当：石川

いざ世界史

こんにちは。教育学類一年の郷間と申します。世界史選択の皆さん、暗記や論述問題に苦しんでいませんか。漢字とカタカナが入り乱れる世界史用語、世界史特有の広範囲に渡る地域、時代ごとのつながりに苦労している方は多いと思います。ですが、モノにしてしまえばこれほど心強い教科もそう多くはありません。この体験記が、あなたの世界史の勉強のどこかで役立ってくれば幸いです。

1. おすすめ教材

① 教科書（詳説世界史 改訂版 [山川出版社]）

受験生にとってのバイブルといっても過言ではないでしょう。私は論述対策以外で参考書を使わなかったため、教科書を何周も読み込むことで暗記しました。人によって合う、合わないはあると思いますが、個人的に教科書の**音読**をお勧めします。音読のメリットは二つあります。まず一つ目に、用語を文脈の中で覚えることができるため、時代、地域との結びつきが強固になり、理解が深まることが挙げられます。これにより、「用語は覚えているけど、どの場面に登場したっけ…」という歯痒い状況に陥りづらくなると思います。二つ目に、簡潔かつ要点を抑えて説明をしている教科書の文を声に出して読むことで、文章構成が自然と頭に入り、論述問題を解く際に文章が組み立てやすくなることが挙げられます。相手に情報を過不足なく伝えるためのエッセンスが教科書には詰まっていると私は考えます。暗記のみならず、論述対策にも教科書を余すことなく活用していきましょう。

② 資料集（最新世界史図説タペストリー十七訂版 [帝国書院]）

芸術作品を覚えたり、少し抽象的な用語を映像としてとらえたりするのに役立ちます。また、地図の上で、民族の動きや、戦いの過程を示してくれるので、世界史の流れをつかむのにも役立ちます。私は、特にウィーン会議以降の複雑な国際関係を抑える際に重宝しました。教科書ではわかりにくい同時代史も資料集では年表としてまとめてくれていることが多いと思います。

③ 論述問題集（判る！解ける！書ける！ 世界史論述 一改訂版一 [河合出版]）

この論述問題集には、全部で200問弱の様々な大学の過去問が掲載されており、問題を多くこなしたいという人にはうってつけです。例題の解説がかなり詳しいので、解説を読むだけでも勉強になることが多いです。また、通史だけでなく、経済史や文化史の論述問題も掲載されているので、普段意識しないような角度から世界史を捉えるきっかけを作ってくれます。ただし、前述のようにかなり問題数があるので、早めの購入をお勧めします。

2. 時期と対策

受験勉強開始～春休み（休校期間）

基本的にこの時期はインプットに徹しました。アウトプットを行ったのは学校の定期考査と時々行われる模試ぐらいだったと思います。まずは通史を中心に、余力があれば文

化、経済の細かい部分にも手を出しつつ浅く広く知識を身につけていきました。コロナウイルスの影響で休校になり、授業が進まなかった時期は、自分で予習して、学校が再開される前には一通り教科書内容に目を通すことが出来ました。

休校明け（5月）～冬休み（12月）

休校が明けると、学校で世界史の論述対策のための講座が開かれたので参加しました。先生から配られた大学の過去問を解いて、添削を受け、解説を聞くといった形式でした。初めのころは、知識が固まっていなかったので、教科書や資料集、用語集を使いながら解答を組み立てていました。何も見ずに解答を作り始めたのは秋ごろだったと思います。学校で配られるプリントや教科書用いて、知識の復習は定期的に行っていました。夏休みが終わるころまでに教科書をもう一周、できれば二周しておくとそのあとの勉強がぐっと楽になります。秋からは共通テストの勉強に少しずつ力をいれていきました。秋から冬にかけては模試が非常に多かったので、解答解説を見直して復習し、自分のウィークポイントをつぶす作業を繰り返していました。

冬休み（12月）～共通テスト

この時期は、共通テスト対策9：論述対策1ぐらいの比率で勉強を進めていました。共通テスト予想問題を解く→答え合わせ、間違った部分を教科書、資料集で確認するという作業を幾度となく繰り返し、絶対の自信を持って共通テストに臨めるようにしました。論述対策は、論述の勘が鈍らない程度に、気分転換の気持ちでしていました。

共通テスト終了～二次試験

この一か月間は筑波の過去問をできる限り解きました。時間を計りつつ一日一年分、合計二十年は解いたと思います。解いた問題は全て世界史の先生に**添削**してもらいました。**添削は論述問題の勉強において必須だと思います。**添削を受けることで、論述したことの正否が明らかになるだけでなく、その論述が読み手に伝わる解答かどうかを客観的に判断してもらえたため、より読み手を意識した解答を作ることにつながりました。教科書は、一日二～三章を**音読**し、正確な知識を絶えずインプットするようにしました。日頃から時間を意識しつつ、ペース配分を考えて解くことを心掛けておくと、本番も、落ち着いて解くことが出来ると思います。

3. 終わりに

受験勉強は、誰にとっても苦しい戦いです。どこかでくじけそうになったら、仲のいい友達や、信頼できる先生に相談してみてください。きっと気分が軽くなります。そして、勉強を自分の限界までして「私が合格しなくて誰が合格するのか」という不遜な態度で受験に臨んでやりましょう。そうすれば、焦らず慌てず、自分の実力を発揮できるはずです。これを読んでいるあなたが、筑波大学の一員となることを願ってやみません。

担当：郷間

地理受験で合格しよう！

1. はじめに

皆さんこんにちは。障害科学類 1 年の池上です。このページでは、二次試験の選択の中でも圧倒的少数派の地理受験について、対策を中心にお話していきたいと思います。

2. 地理受験を選択したきっかけ

私は理系選択で、高一の時から、得意科目だと錯覚していた化学で受験しようと思っていました。しかし、理論化学の分野で挫折し、悩んだ末高三の秋頃に地理受験に変更することにしました。地理受験は少数派で不安もありましたが、好きな科目だったため苦痛を感じずに勉強できると思い、選択しました。尚、私は浪人をしていますが、二次試験の地理はこの方法で 1 年目に合格ラインの点数をとれたので、気にせず読んでいただきたいです。(1 年目不合格だった原因は全てセンター試験にあります……)

3. おすすめの教材

ここでは、私が受験対策の時に使用していたおすすめの教材を紹介します。具体的な使用方法は 4. 対策 でご紹介します。

①教科書

おそらく、筑波大学の入試対策の中で私が最も活用した教材です。ボロボロになるまで使い込み、書き込みました。

②筑波大学の過去問

筑波大学の社会科の入試問題は、他大学にはあまり見られない特殊な形式であるため、特に過去問演習は重要になります！

③地理用語集（山川出版社）

その名の通り地理用語と解説が載っており、地理の知識を増やすのにもってこいです。

④実力をつける地理 100 題（Z 会出版編集部）

私立対策向けの穴埋め・記述問題等と、記述式の問題が載っていますが、私は記述式の問題のみ対策に用いました。

4. 対策

①教科書で基礎知識を固める

一見難しそうに見える記述問題でも、教科書に書いてある知識を組み合わせれば解答でき

るものがほとんどです。そのため、私は教科書中で記述問題に使用できそうな文にはマーカーを引き、何度も繰り返し読んでいました。個人的には、音読をしながら読み進めると頭に入りやすかったです。この勉強は秋頃から二次試験前まで継続しました。

②短い記述問題に取り組む

ある程度教科書の内容が頭に入ってきたら、演習に取り組めます。基本的な問題を地理100題の中から文字数30~100字くらいのものを自分で選択して解いていました。取り組みやすいものから始めて、記述になれることを意識しましょう。

尚、この対策には11月頃共通テスト演習と並行して取り組んでいましたが、12月からはほぼ共通テストの勉強にしか時間を割きませんでした。これは、共通テストで納得のいく点数を取れば二次試験に気持ちの余裕を持って取り組める、共通テスト明けは英語と地理にみっちり時間を割くことができる、と考えたからです。(1年目の失敗を踏まえて)受験を終えてみてこの作戦にしてよかったと感じています。

③過去問に取り組む

共通テストが終わったら、いよいよ過去問対策に入ります。しかし、ここで初めて過去問を見る、ということはやめておきましょう。出題形式を知るために、夏休みくらいに過去5年分ほどのの中から1年分を解いてみることをお勧めします。

私は1日最低1年分解くことを毎日継続し、本番までに15年分を2~3周しました。その際、1年分を当日と同じ制限時間内に解くように心がけました。これだけ繰り返せば傾向や頻出分野をしっかりと把握できます。初めのうちは規定文字数までかけなくても心配いりません！やればやるほど慣れてきて、最後にはしっかりと書けるようになります。

書いた文章は先生に少なくとも1回目に解いたものは添削して頂きましょう。自分ではわからない穴や論述のコツが理解できると思います。そして、添削して頂いたものは、なるべく早く復習をしましょう。私は自分がうまく書けなかった点を中心に、教科書を読みながらどのように書けば点数が上がるのか考え、そして地理用語集で調べた関連知識を復習ノートにまとめていました。この復習ノートは筑波の試験当日に持ち込みましたが、直前の確認にも、「自分は今までこんなに頑張った！」という自信にもなりました。

5. 終わりに

地理は理系・文系問わず選択できる科目であるにも関わらず、受験科目に選ぶ方は少ないです。私も当初そうだったように出題形式を見て敬遠する方が多いのかと思いますが、取り組んでみると意外と解きやすいことに気がつくと思います。地理が得意な方でなくても、興味がある・好きな科目だ、という方なら大丈夫です！少しでも気になっているという方がいたら、ぜひ、地理受験を考えてみてください。

私は受験生の時、実際にこの冊子を参考に勉強していました。同じように、この体験記が誰かのためになれていたらとても幸いです。皆さんのご健闘をお祈りしております！

担当：池上

出来るだけ楽をしていきましょう

1. 自己紹介と初めにお話ししたいこと

初めまして。筑波大学心理学類一年の安(あん)と言います。名前からも察せる通り韓国人です。日本語はそれなりにできるので安心して体験記は読み通してください。弊合格体験記は目次にもある通り、倫理受験を考えている人のためのものとなります。また、私の私による私のための倫理対策だったので万人受けしないことをご留意ください。

ここまで読んでいるということは倫理受験を考えている、あるいは倫理受験(の様な奇抜 of 奇抜の道を選んだ人)に興味があるということだろうと推測しますが、言っておくと倫理を選ぶということは受験を綱わたりで挑むことを意味しています。何が何でも浪人したくなかったために全国の倫理受験を探しまくった私が保証しますが、独自/二次試験に倫理を導入している大学はほぼ無く、一橋が 2022 年入試から倫政を撤廃したことからわかる通りいわゆる「難関校」は倫理という科目を受験に必ずしも必要であるとは見なしていません。倫理を使って受験を突破することを考えているなら、もう倫理と英語だけで突っ切ると覚悟を決めるか、あるいは倫理以外の予備策を考えておいてください。

では、言おうと思っていたことの五倍は書いてしまったのでそろそろ倫理受験のことについて詳しく書いていきますね。

2. 倫理の勉強法(大は小を兼ねます)

まず倫理ですが、その分野は大きく

①青年期 ②宗教 ③日本思想 ④西洋思想 ⑤現代倫理 の 5 つに分けられます。筑波大の倫理平成 33 年分を制覇した私が思うに、**筑波大の倫理は②宗教 ④西洋思想の 2 つを重視しているように思えます**のでこの 2 つをより強化的に暗記したほうが良いとお伝えしておきますが、思想というのは「決して単一的でなく、その時代に特有の風潮・歴史的背景」を基に打ち出されています。突然寝ていたニーチェがいきなり「神は死んだ！」なんて言うわけないでしょ？つまり、**思想は「その思想が生まれた時代の特徴を強く反映した思想/反発的思想である」**のです。試験の対策的には上記の 2 分野を重点的に把握したほうが良いですが、すべての分野を満遍なく暗記することは理解の向上につながるので強く推奨します。また、この時ただ暗記するのではなく「**何度も読んだりまとめたりしてその思想を理解すること**」を意識しましょう。どこまで行っても思想は人の考えですから必ず論理的な流れに沿っています。その思想家の紹介文を、習ったキーワードをすべて繋ぎ合わせて作ってみたりして単調的な暗記ではなく「理解」することに努めてください。

私自身筑波の倫理の対策は共通が終わった翌日から毎日 1・2 年分解いて学校の倫理の先生に添削してもらっていたのでこの方法をおすすめしますが、上記のような倫理の対策を

していれば共通テストは乗り越えられますし共通が終わってまもなく記述の対策に乗り換えても大して困りはしません。作った紹介文を定型フレーズにして、問題文で問われていることをベースに膨らませていけば案外どうにかかります。大は小を兼ねるなんて書きましたが、要は共通向けに知識を「理解しながら」暗記していけばそれは記述でも生きてくるということです。安心して共通テストまで全理解・暗記をしましょう。

また、私自身が筑波倫理の過去問をずっと解いてきた中でそれっぽい傾向はつかめてきましたしメモも残していますが傾向を自分でつかむこともまた勉強のうちです。

過去問はしっかり解いて傾向を把握しておきましょう。

余談ですが、私が倫理を使おうと決めたのは高3になる直前の3月です。学校には倫理の授業は無く、そもそも学校にすらいけなかったので市販の参考書を使っていました。

- ・『ハンドブック 倫理の要点整理』 by Gakken
- ・センターの倫理黄色本
- ・蔭山のセンター倫理
- ・倫理の用語集 by 山川

この4冊を読み終えるに飽き足らず、私は完璧主義だったのでこの4冊の内容を一冊に集約していました。この方法はおすすめしますが時間が恐ろしくかかります。気を付けましょうね。

3. 得意分野を作ると精神的にも点数的にも安定します

表題を読んでもらえばわかる通り、倫理の中でも得意な分野があれば受験のように初見の問題に出会った時でもある程度は安定剤になってくれます。

私の場合、家庭がキリスト教徒(プロテスタント)で聖書は読み慣れていた(聖書を一冊通読したこともある)のでキリスト教は得意でしたし転じて他の宗教やキリスト教と深く結びつく西洋思想の分野も得意でした。だから過去問を解いているときに特に答えにつまったこともありませし受験本番でも特につまりはしませんでした。

正直、宗教や西洋思想が人気な筑波倫理においては相性最高であったのでどの分野でもよいから得意にきなさいとは言えませんがそれでもやはり1つでも得意分野があると安定してきます。

2. で示したような勉強法をする中で1つ得意分野を探すつもりでやってみても良いでしょう。

4. 解答の書き方

正直あまりここでは多く語るつもりはありません。書き方については私よりも塾の先生や学校の先生に聞いた方がはやいでしょうね。ただ言っておきたいのは

- ・ **結論は最初の一文目に書く**
- ・ **最後の一文はなるべく一文目に書いた結論の繰り返しや言い換えを書く**

ということです。このようなサンドイッチ構造は割とポピュラーな書き方ですし自分の言

いたいことがズレにくい書き方です。最初に結論を言って文章の方向性を示し、終わりの方にも似たことを書くことを意識することで要旨の脱線を防いでくれます。

この方法は個人的におすすめですし大学に入ってからでも使えるテクニックなので是非応用してみてください。ちなみに、英語圏での論文はこの方式で書かれることが多いらしいですよ。

加えて、これは受験全般に言われていることですが、受験において求められるのはたいていの場合「自分が思っていることではなく『作者(出題者)の意図を読み取って解答を書くことです。』」調子に乗って難しい言葉を使って文意を損ねることがあっては恥の中の恥です。**無難で誰でもわかるような文章・語彙こそがベストでありそれ以外の文章は悪だと思って書いてください。なぜなら受験はどんな悪意をもった人が読んでも正解とするような答えを書く試験だからです。**これを決して忘れないでください。

5. 最後に

長々と書いてしまいました。ここまで読んでくださった方、ここら辺に書いてあることは大体面白そうだから内容全部読み飛ばしてここを読んでいる方。お疲れ様です。

受験は短いようで長い息を止める戦いです。だから途中で苦しくなってやめたくなるし、それ故に終わった後の爽快感は癖になる。最初に私は高3になる直前の3月で倫理を選んだといいましたが、それはそれまで使っていた日本史を続けることを苦痛に感じていたからです。要は戦略的変更です。メンタルやられたくなかったのでせっかく選択肢があるなら楽しそうな方を選ぼうと思って倫理に変えました。

確かに受験はつらいですしその辛さがある程度飲み込まなきゃいけません。でも楽出来る部分があるならそっちを選びましょう。その楽の先に待ち構えているリスク(時には不合格や偏差値の低下)はあるけれど、そこをどう解決するかもまた勉強です。

また、つらいときには悩まず身近な人に相談しましょう。先生でも良いし、仲良い友達でも良いし、先輩でも良いし、親でも良いです。溜め込んで良いことは全くありません。誰かの前では格好良い姿を保っていたと思うプライドは大事ですが、それが原因で崩れてしまっただけは受験失敗です。時には誰かに弱みを見せるくらいの世間への関心は残しておいてください。

以上本当に長くなってしまいましたが私の合格体験記は以上です。

来年の春、笑って筑波大学に入学する君たちの姿を楽しみにしています。

担当：安

教育の推薦入試について

はじめに

皆さん、こんにちは。教育学類1年の宮田です。私は出願要件2で推薦入試を受けたレアケースです（自分調べ）。推薦入試募集要項を読み、高校2年次に行った研究の経験が入試に生かせるのではないかと考え、出願要件2で受験しました。

対策期間

私が推薦入試を受けることを決めたのは、高校3年生の夏休みの終わりです。それまでは一般入試で入ることしか考えていませんでしたが、1回でもチャンスを増やしたいと思い推薦入試を受験しようと決めました。9月に入ってから志望理由書の作成を始めました。志望理由書は早めに作成は早めに作成するといいです。自分が大学に入ったらどんなことをやりたいのかを明確にすることで、モチベーションの向上にもつながります。小論文と面接の対策は、10月の後半から取り組み始めました。10月に模試が集中していたこともあり、それらが落ち着いた10月の後半から約1ヶ月の間、推薦対策にほとんどの時間を割きました。

小論文

教育の推薦入試の場合は、教育に関する内容の英文を読んだ後に、下線部和訳や説明の問題を解き、小論文を書くという形式が基本です。そのため、英語の語彙力・読解力・日本語の記述力が必要です。英単語は、単語帳1冊を仕上げることに加えて、過去問に出てきた難しい単語をノートに書き出して単語帳を作ることをお勧めします。専門用語が多いので難しいですが、テーマが教育に関する事なので、単語帳を作って勉強すると、かなり読みやすくなります。また、教育に関する本を読み予備知識をつけておくことで、課題文の内容を掴みやすくなります。

小論文については、時間との勝負だと思います。時間が長めに設定してあるように見えても、実際に書いてみると時間が足りなくなります。私が初めて解いたときは3時間もかかりました（笑）。英文を読み、自分の意見を簡潔に述べられるようにするために、普段から教育に関する問題意識を持っておきましょう。とは言え、まずは早めに過去問を1年分解いてみてください。これは私の反省なのですが、もっと早いうちに過去問を解いておけば、良かったと思います。過去問を解き、今の自分に何が足りないのか分析をすることが重要です。私は過去問を5年分程度やり、高校の英語の先生の添削を受けました。

面接

私は、高校の先生と教育学部の推薦を受ける友達と一緒に面接の練習をしました。各学校に先輩方が残した受験報告書があると思うので、そちらを参考にするとより詳しく面接

について知ることができます。

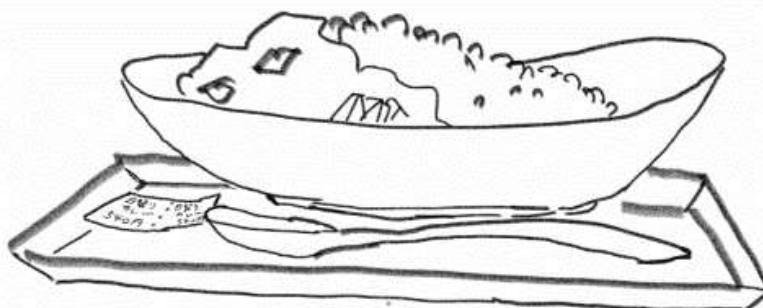
面接内容について、私の場合、志望理由は勿論のこと高校で行った研究の内容についてかなり深く聞かれました。模擬面接をする際には、質問の返答に対して、ツッコミを入れてもらうようお願いすると良いと思います。鋭く突っ込まれても返答ができるようになるには、話す内容を暗記しようとせず、自分の意見をしっかり持つことが重要だと考えます。

模擬面接以外の対策としては、面接ノートを作り、教育問題や地元の教育事情について調べてまとめたり、自分の意見を書いたりしました。**面接ノートの作成は面接だけでなく小論文対策にも役に立ちます。**私の場合、面接で話そうと考えてノートにまとめていた内容を小論文で聞かれたため、時間内に書き終えることができました。

最後に

推薦入試は受ければラッキーといったくらいに考えておくべきだと思います（かくいう私はかなり期待してしまいましたが）。推薦入試を受けるにあたっては、時間的にも精神的にもかなり負担が大きいので、それなりのリスクを伴います。だからこそやると決めたからには本番でベストを尽くすことができるように、しっかりと対策をしましょう。ベストを尽くすことで、推薦入試が終わってから、すぐに一般入試に向けて気持ちを切り替えることができます。それでは、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

担当：宮田



積み重ねと対策力で勝負する

はじめに

これを読んでいる皆さんこんにちは。私からは心理学類の推薦入試について自分の合格体験記を書きたいと思います。私は中学二年生の時から筑波大学の心理学類を目指してきました。しかし恥ずかしながら学力に全く自信がなかった私は、心理学類一般試験の偏差値と倍率を見て絶望し、当時から推薦入試を狙おうと決めていました。それだけが理由ではありませんが、進学する高校も勉強と課外活動が多くできる場所を選びました。しかし今年度から大学入学共通テストが二次試験として課されることを知ってまた絶望。出願期間直前まで受験するかかなり迷っていて、「自分のような人間が筑波大学を受験していいのか」とまで考えていました。受験期でメンタルがかなりやられていますね（笑）あの時受験を決断していなければ今の私はないので、諦めなくてよかったと思っています。ここでは全く自信がなかった私なりの対策と経験について伝えたいと思います。

対策開始時期

一次試験の内容は小論文と面接です。また出願時に志望理由書の提出が必要です。その三つに関して私が具体的に対策を始めたのは高校三年生の秋でした。おそらくかなり遅い方でしょう。しかし筑波大の心理学類のことや、自分が入学したらどんなことをしたいかは中学生の時からずっと考えてきたので、そういった意味では対策期間は数年間です。そのおかげか私は伝えたいことや大学でやりたいことが複数あったので、全く別の内容で志望理由書を二枚書き、先生と話し合っただけで提出するほうを決めました。実際、面接や小論文でもこれまで自分が積み重ねてきたものの影響は大きかったと思います。推薦入試を考えていない人でも、こういうことを考えておくのは勉強のモチベーションになるので、やっておいて損はないと思います。

小論文

心理学に関する英語の文章を読み、設問に答えます。過去問を探せば本文自体は見れないものの、どんな設問が出されたのか見ることができるので見ておくといいと思います。私の時は最後の設問が自分の意見を数百字で書くものだったのですが、時間がギリギリすぎて終了時間数十秒前にやっと書き切れました。そのため見直しができず、誤字脱字チェックができませんでした。焦りすぎて残り五分の時は震えた手で書いていましたし、心臓バクバクです。試験中に焦っても良いことは何一つとしてないので、時間に余裕をもって解けるようにしておきましょう。

試験前にしていた対策は、ひたすら単語帳をめくって語彙を増やすことと長文の精読練習です。it や that などの代名詞が指しているものを正確に読み取ることや、文の構造をきちんと理解できるようにするのを中心に行っていました。本番はわからない単語がないの

私の合格体験記 心理推薦

が理想ですが、そんな単語が出てきた時のための対策もしておくといいと思います。文章中の他の単語や形の似た単語から意味を推測しようとする柔軟さがあると焦らないで解けるのではないかと思います。推薦入試以外でも言えることですが、ある漫画に出てくるセリフの「想定外の敵と戦う想定」（想定外のことが起こったときに自分がすべき行動をあらかじめ数パターン考えておくこと）は実際かなり有効だと思います。私はこれにかなり助けられたので、試験本番の焦りや緊張が心配な人はぜひ参考にしてみてください。

面接

ただ用意してきた文章をつらつらと述べるだけの受験生に魅力は感じないと思い、暗記は全くしませんでした。普段から色んな事柄について考え、自分の意見を持つことで、どんな質問が来ても焦らず自分の意見を言えると思います。「良いこと」を言うのではなくしっかり考えつくされた「自分の考え」を相手にわかりやすく伝えることを心がけていました。それに一番役に立ったのは友人との会話です。マクレガーのX理論とY理論だったら、あなたはどっちの考えに近いとか、ジェームズ＝ランゲ説についてどう思うとか自分が気になった話題を友人に振っては会話を楽しんでいました。別の視点からの意見も取り入れられて視野が広まるし、自分に言いたいことを伝える力もそこでついたと思います。ここではあえて心理学的な例しか挙げていませんが、もっとくだらない些細な話題の方が断然多かったです。私は、高校時代は理系で、同じ生物選択者となぜか免疫領域について数時間話していたこともあります。実はこの時の会話が面接で役に立ったので何が役に立つかは本当にわからないと思いました。付き合ってくれた友人たちには本当に感謝しています。また面接のときには志望理由書の内容について聞かれるだろうと思い、志望理由書に関連した質問をあらかじめ想定しておくなどの対策もしました。

大学入学共通テスト

この二次試験は自分との戦いです。一次試験を通った自信を引っ提げながら、残り的一か月はひたすら努力あるのみです！ 私は出身地が雪国で、テストの一週間前に大雪のせいで登校できないというハプニングもあり大変でしたが、なんとか乗り切りました。

おわりに

なんか思っていた合格体験記とは違うと思われた方もいるかもしれませんが、私のありのままの経験や考えを書かせていただきました。当時考えた対策も色々を紹介しましたが、やはり自分にあった方法で対策するのが一番の受験対策だと思っています。いろんな情報を吟味しながらあなたなりの方法で合格を掴み取ってください。

p.s.試験会場に時計はないので時計を忘れないように！

担当：山本

何があっても諦めなければ、道はきっと開かれる！！

みなさんこんにちは、障害一年の斉田です。私は去年の11月に推薦入試を受けた末にこの筑波大学に入学しました。今振り返っても高二の三学期から合格発表までの1年間はあまりにも波瀾万丈で、改めて人生何が起こるか分からないということを思い知らされました。正直あまり類を見ないような受験人生だと思うのでどうぞお楽しみください。

戦いの始まり

私たちの代は共通テストの導入の影響でコロナ休校前の段階ですでに様々な苦悩が降りかかっていました。そのため、私は早い段階から推薦入試を考えるようになっていました。高二の3学期が始まった段階では第一志望を筑波大学の障害者特別入試という方式で受けることを決めて準備を進めていました。しかし、高二の3月頃にその方式が廃止になったことが発表されたのです。**受験では大学側が突如方針を変更することがあるので柔軟に対応できるようにしましょう。**そこで私は進路を迷いに迷い、高三の7月にこの筑波大学の障害科学類を推薦で受けることに決めたのでした。

また、私は中三に英検準一級を取得していたため加点制度について安心しきっていたのですが、私の英検スコアが大学受験においては使えないものであることが高三の5月に判明したのです。英検の成績を提示する際には高校在学中に取得したものしか認められないため、入試を受けるためには再取得しなければいけないということにその時期まで気づかなかったのです。そこで私は慌ててTEAP・英検S-CBT等を高三の7月に合計4回受験するに至ったのです。その結果幸い私は難を逃れることを得ることができましたが、**受験資格や加点制度に関しては細心の注意を払いましょう。**せっかく受かる可能性があるのにこんなことでもったいないミスをしたら後悔してもしきれなくなります。ちなみに後に筑波大学でこの加点制度が前年度は見送られることになりこの努力は水の泡になりました。

家族の渡欧による情緒不安定

高三の7月に私の親の異動に伴い、両親と弟が順次渡欧することが決定しました。この時私には休学して共に渡欧するという選択肢があったのですが、迷った末に単身残って遠方の祖母に来てもらってそのまま日本で受験を続ける道を選択しました。受験期間中はただでさえ精神面に追い詰められます。その中で日常が大きく変わると無意識ながらもかなり精神的に負担がかかります。**受験期間中は追い詰められないためにも必ず相談相手やストレス発散の場所だけは作れるようにしましょう。**私の場合家族の渡欧とコロナ禍の休校に伴う日常の変化により誇張抜きで一時期鬱状態の一步手前にまで追い詰められましたが、部活の後輩や先輩に相談したり愚痴ったりすることで自分をなんとか立て直すことができました。周りの環境に負けずに確実に自分の実力を出せるようにしましょう！！

志望理由書で死亡しかけた話

そんなこんなでいよいよ勝負の二学期を迎えました。筑波大学の推薦入試では小論文と面接を受けに行く前に志望理由書を事前に送る必要があります。いわゆる出願作業なのですが、私はかなり遅れをとって高三の9月になってから書き始めました。さらに、今思えば何をやっているのだろうという感想しかないのですが、出願発送日と同じ日に文化祭があった中でなんと私は文化祭準備を優先してしまっていたのです。私が所属する部が情勢的に文化祭での展示を成り立たせられない可能性が高かったため部の展示作品を二日前に徹夜で仕上げ、さらにその翌日に徹夜で志望理由書を仕上げることになりました。結果私はかなりギリギリに出願作業をなんとか終わることができました。書くこと自体は何ヶ月も前からぼんやりとは決めていたのですが、それを文として形にするのはかなり難しいです。**願書の締め切り前後にはやることの優先順位に気をつけましょう。あと、可能な限り早めに動いておきましょう。**私の場合本当にもしあと一歩間違えていたら詰んでいました。

推薦入試本番に向けて

志望理由書を提出していよいよ入試への気持ちが高まり、いよいよ次に控えるのは入試本番のみになりました。小論文に関しては何ヶ月も前から長文を読んで訳して自分の考えを書くというのが主な出題傾向であるということを知っていたので、とりあえず赤本を買って対策しようと思いました。しかし、**赤本には著作権の関係で本文が載っていないことが比較的多い**です。なので、他の一般的な参考書等を使って本番と同じことをしてどんな話題のどんな長文が来てもうまく対応できるようにしました。

面接に関しては入試まで一ヶ月切ったところで先生に面接練習を頼んで志望理由書を元に対策をしていただきました。私はどんな相手であっても二、三人以上の人を相手に一人で話すとなった時は失敗を恐れて頭が真っ白になってしまうことが悩みの種でした。そのため、私は**聞かれたことに対して論理的な答えを述べられるようにすること**のみに意識を注ぎました。

本番当日～後書き

祖母は高齢で親は遠方にいたため、私は一人で前泊しました。そのため、比較的心を落ち着かせやすかったかなと思います。この頃には何が来ても驚かないメンタルが形成されていたため緊張はありませんでした。そのおかげなのか、面接でも今までの自分としてはありえないほど流暢に受け答えをすることができたことには今でも驚いています。

合格体験記として何が参考になるのかよくわからないのですが、これだけはいえます。**何が来ても恐れずに臨機応変に対応すればなんかしらの教訓は得られます！** 執筆者がこんな奴で本当にすみません。読んでいただいてありがとうございました。

担当: 斉田

不合格→合格体験記

<はじめに>

こんにちは、心理学類 1 年の佐久間といいます。ご覧いただきありがとうございます。さて、早速ですが今このページを読まれている方は 2 つのタイプに分けられるのではないのでしょうか。①前期で筑波の心理を志望し、前期がダメだった時の保険で後期を考えている方②前期は他大学を志望し、後期では筑波の心理を志望する方、の 2 タイプです。最初から後期に懸ける！ という方はなかなかいないと思います。では、この①②の共通項は何でしょうか。そうです、前期試験で不合格だった、ということです。「これから受験に臨むのに、そんな不幸を突き付けないでくれ……」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、私も②の第一志望に落ちてしまった一人でした。

<そもそも後期ってどんな試験？ >

と、前段が長くなりましたが、このページの内容を一言で要約すると『**後期試験は未知数だ**』ということです。というのも、この筑波大学人間学群心理学類で後期試験が実施されたのは昨年度入試が久しぶりのことだったのです。当初は共通テスト+集団討論で判定がなされるとのことでしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で集団討論が論述に変更されました。ここで一つアドバイスです。これは後期試験に限ったことではありませんが、コロナ禍での受験は様々な部分で変動が予想されます。**自分が受けるかもしれない大学の試験等の情報は公式ホームページで随時確認**しましょう。ちなみに私は高 3 の当初から後期は筑波を考えていたので、情報のチェックは逐次していました。そしてこの後期試験、事前の情報がかなり少なく、過去問も無い。皆さんも 1 年違いですので、ほとんど私と同じ状況にあって不安も大きいと思います。実際私も何を準備したらいいのか分からなくなっていました。

<最低限の 3 つのポイント>

このように謎に包まれた後期試験。張ったヤマは見事に外れ、予想とは全く異なるトリッキーな試験だったのですが、制約から試験内容についてはここに記すことが出来ません。申し訳ありません。この条件の中で、自身の経験も踏まえつつ、後期に臨む方へ 3 つのアドバイスを恐れながら以下に記させていただきます。

1 共通テストは高得点（8割後半～）を目指す

→これは誰であれ当てはまることなのですが、特に筑波の心理の後期試験では**共通の配点**がかなり高く、合格への大事な条件だと感じました。今年度の受験要項はまだ出されていないため、現時点では昨年度に依拠したことしか申し上げられませんが、ご存知の通り、後期試験は狭き門になります。私の場合は実質倍率が 10 倍ほどあり、厳しい試験でした。正直、倍率を見た時、会場に入った時、「あ、これは無理かもしれない」と思ってしまったことを今も覚えています。しかしここで合格を掴めたのは、自身の

共通テストの持ち点も一要因だったと思います。大学入試改革が続き、揺れ動く状況に不安を感じている方もいらっしゃるかもしれませんが、大切なのは基礎力です。**センター試験も含めた過去問演習と時間配分、問題の取捨選択の練習**を繰り返し行えば、きっとそれが結果として還ってくると思います。受験生の皆さんはこの夏から、高得点を目指して頑張りましょう。

2 **心と体を切り替えよう**

→大体、二月の下旬に前期試験があり、三月の月上旬に前期の合格発表、そして**その直後**に後期試験が行われるのですが、ここで大事になるのが『**切り替え**』です。前述の通り、私は他大学の教育学部を志望していましたが、そこには敢え無く落ちてしまいました。直前の模試でもB判定を取っていたこともあり、「もしかしたら……」という甘い気持ちで臨んだ結果、悉く玉砕したのです。その事実を知ったのは後期試験日の**わずか2日前**。周囲には第一志望に合格した人や落ちてしまった人が入り混じる中、「前期は忘れて、次で決めなければ」と奮起しなければなりません。これから、という方にこのようなお話をするのも心苦しいのですが、これも現実です。前期試験後に寛いでしまった体に檄を飛ばして、もう一度試験モードに切り替える必要があります。

ちなみに、私はこの前期試験終了～前期発表の期間、何をしていたかという、最低限**小論文のお作法**について参考書を読んだり、**心理学類の推薦入試の過去問**を見ていたりしました。

3 **試験の準備はお早めに**

→上にも記しましたが、後期試験の実施日は前期の発表日から近いところになるかもしれません。これは試験そのものというより、後方支援に関するお話ですが、『**ホテルは後期を受けると決めたら、即予約しましょう**』。当日自宅から向かわれるのではなく、遠方に住んでいて前泊が必要な場合、どこに泊まるのか、つくばにいつ向かうのか、大学までどのようにして行くのか、というような下調べ・下準備は必須です。私のように前期発表の翌日につくば市に入らなくては……という方もいるでしょう。そのような時に、試験のことにだけ集中できるように、出来る準備は早めしておくと思います。実際、長時間の移動だけでもかなり疲れてしまいました。

<おわりに>

長文拙文をお読みいただきありがとうございました。色々と分からない後期試験、不安も募ることかと思えます。そもそも、後期を受けるか受けないか、そこから皆さんの悩みは始まるのではないのでしょうか。私は、行きたい大学ならばめげずに受けてみる方が良いと思います。倍率が高くても、募集人数が少なくても、皆さんの今までの努力が反映されるというのは他の試験と同じことです。皆さんの得たい情報を共有出来たのかどうか自信がありませんが、引き続き自身の目標や夢に向かって、**前期試験で第一志望に合格**できるように、ひたむきな努力を重ねてください。皆さんを応援するとともに、私のアドバイスが不要になることをお祈りしています。

担当：佐久間

障害科学類後期試験 合格体験記

はじめまして、障害科学類1年の稲生と申します。今年、または来年再来年に受験を控えている皆さんのなかには、人生で一度しかない学校行事や部活動をコロナに奪われ、消化不良を起こしている方もいるのではないのでしょうか。それでも将来のために勉学に励み、進路を模索するためにこのパンフレットに目を通していただいている方は本当に素晴らしいと思います。コロナ禍での受験生生活を一步先に終えた者として、志望校選びの一助となれたら幸いです。

～試験方法について～

私たちの年度は人間学群の選抜方法に後期が開設されて最初の年でした。当初の予定は「集団面接」でしたが、感染予防の観点から「論述」に。高校に届いている受験案内と筑波大学のHPで公開される内容に度々変更が重なり、どれが最新の情報なのか、それは本当に正しいのか、と気が気ではありませんでした。多い時は1週間に1回ほど確認していたと思います。試験に臨むうえで最も重要な情報なので、敏感になっておいて損はないでしょう。

～後期試験対策～

変更に変更が重ねられ、過去問も無い状態。具体的に私がどのように対策をしていたかを以下にまとめます。

- ・他大学で、似ている学部の問題（後期試験の論述や面接を想定したもの）を解く
- ・志望動機や自分の将来に何を思い描くか考える
- ・障害に関する知識を覚える（推薦入試のためのキーワード冊子などを読んだりもしました）

注意してもらいたいのは、**これらをやれば合格できるという保証は全くない**という点です。あくまでも「私が取り組んだもの」です。ご留意ください。

この中で私が最も時間をかけたのは上から2つです。それぞれ800字程度で書き、学校や予備校の先生に添削していただきました。取り扱ったテーマに対する理解や価値観の幅を広げられるように、学校の色々な先生と対話をしたりもしました。特にノート等にまとめることはしていません。聞いた話や読んだものをいかに自分の言葉として熟成させられるか、深く考える作業をしていた記憶があります。この期間に得た自分の志は、現在の履修計画や人生設計に大きく関わっているといえますね。

……とまあ「後期試験のために何をしたか」を書き連ねた訳ですが、本当に大切なのは共通テストです。共通テストの圧縮率と後期試験の配点、合格人数は学類によって大きく

変わります。これを読み終えた後にでも、改めて確認してみてください。後期試験についての合格体験記なので、共通テストに関する話は割愛させていただきます。

～受験当日～

まず服装についてですが、私の高校は制服が無かったので愛用していた「なんちゃって制服」で行きました。しかし、私以外の全員が私服でした。「体温調節のしやすい服」「リラックスできる服」であることがポイントだと思います。そして、個人的にオススメしたいのは「姿勢よく歩き、先生には挨拶をすること」です。人は行動に思考が引っ張られる生き物です。どれだけ不安で自信が無くとも、自分は合格すると確信しているような振る舞いをするだけで、いくらか緊張はマシになります。ハタタリで構いません。挨拶というのは「おはようございます」とかの、普通の挨拶です。障害科学類は優しい先生ばかりなので、少しにこっとしてくれたりします。逆にプレッシャーに感じてしまう人もいるかもしれませんが、私は嬉しかったです（笑）。

～さいごに～

私が考える、受験を乗り切るために必要なことは以下の3つです。

- ①最後まで諦めない（後期は特に！）
- ②健康第一（心のバランスも大事）
- ③情報は常に更新（バスの時刻や会場も含め）

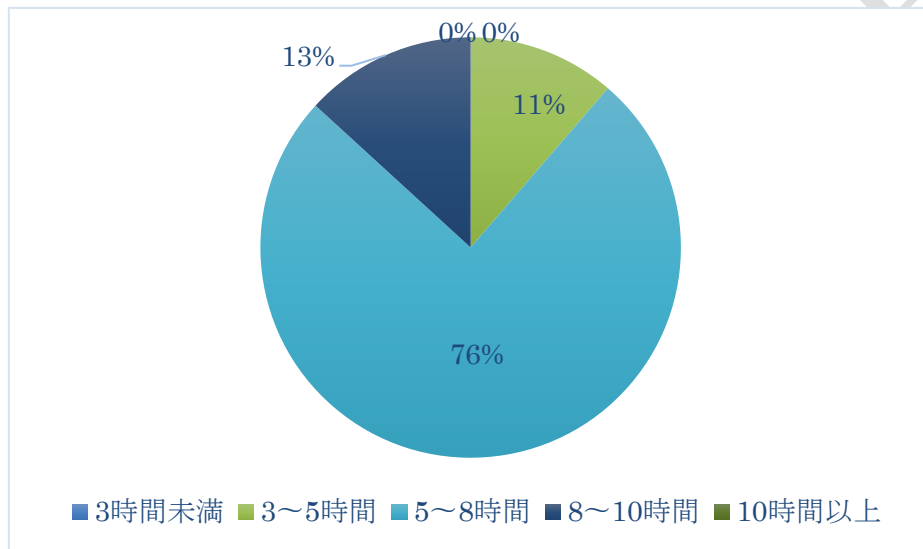
誰も今後の生活状況が分からない、そんな大変な時期ですが、同学年の人たちとの条件は等しく、受験は誰しにも平等に訪れます。残り限られた日々のなかで、皆さんが後悔しない最善の努力を尽くせるよう願っています。かなり長くなってしまいましたね、最後まで読んでいただいてありがとうございました。筑波大学のキャンパスで顔を合わせて皆さんに会える日を、楽しみにしています。

担当：稲生

受験体験アンケート

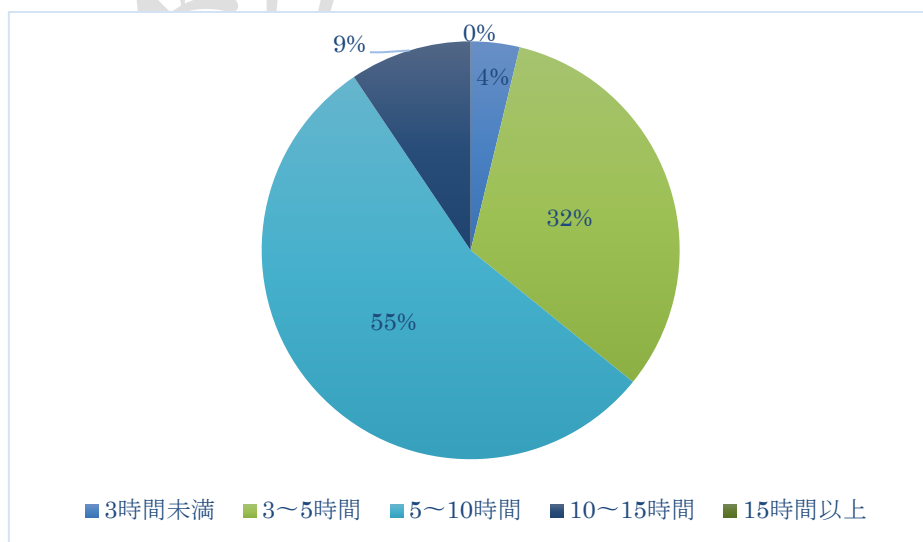
人間学群の一年生に受験体験について振り返るアンケートに回答していただきました。このパンフレットを読んでいるみなさんにとって何か参考になることがあれば幸いです。(睡眠時間など生活リズムは個人によって適当だと感じられるものは異なると思います。多数派であるからそれが最適であるということではありませんので、あくまで一つのデータということを理解していただきますようお願いします。)

1. 受験期の平均睡眠時間

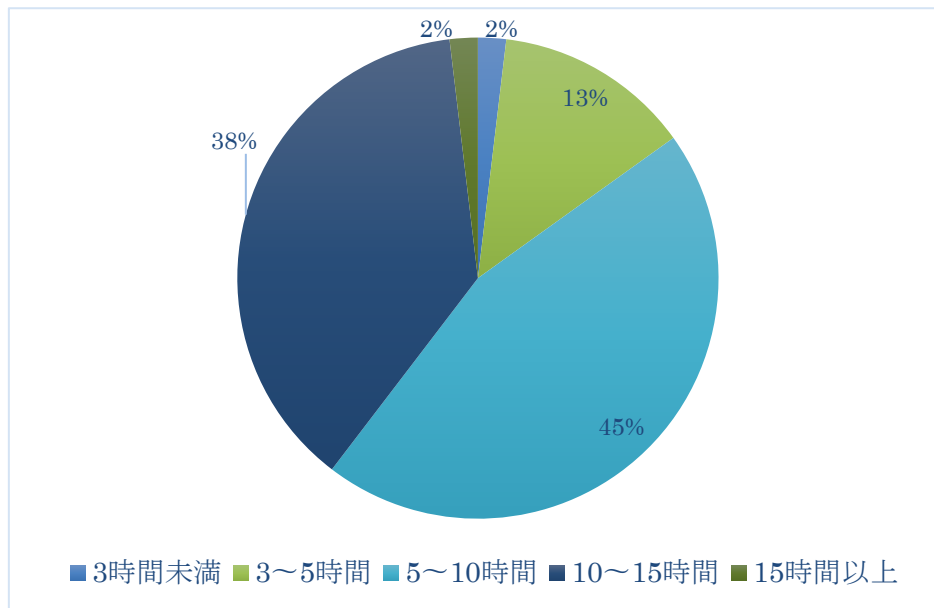


2. 受験期の勉強時間

(平日)



(休日)



3. 勉強中どうしても眠い時の対処法（自由記述、複数回答可）

「勉強中どうしても眠い時はどうしていましたか」という質問に対しては、ほとんどの人が「寝る」と回答しました。仮眠の時間としては15分と回答した人が多く、コーヒーを飲んでから仮眠をとると回答した人もいました。その他にも、リフレッシュの方法としてお菓子を食べる、散歩をする、音楽を聴くといった回答も挙げられました。

4. 受験期に助けられた人（自由記述、複数回答可）

学校や塾の先生、家族や友人といった身近な人を挙げた人がほとんどでした。勉強の息抜きとして、周りの人と話すことも良い気分転換になると思います。また、アイドルや歌手など芸能人を挙げた人や、自分と回答した人もいました。

5. 受験期に助けられたもの（自由記述、複数回答可）

趣味関連：音楽、動画投稿サイト、ゲーム、カラオケ、漫画、テレビ、好きなサッカーチーム、深夜ラジオ

食べ物関連：甘いもの、ラムネ、母親の作ってくれたお弁当、コーヒーショップ

学校関連：学校の自習室、先輩・後輩からの言葉

その他：睡眠、質の良い枕、聖書

6. 一人の時の勉強場所（自由記述、複数回答可）

学校：教室、自習室、進路室、寮の食堂、図書室

自宅：自室、リビング

その他：塾・予備校、図書館、公共施設、カフェ・喫茶店

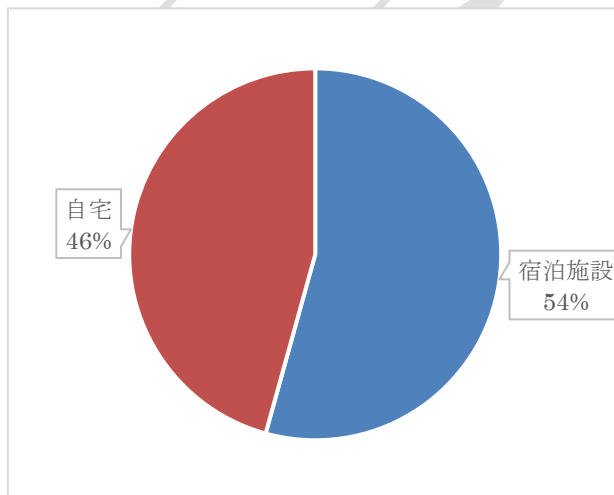
集中力が切れた時には上の結果を参考にいつもとは違う場所で勉強してみるのもいいかもしれません。

7. 体調面で気をつけたこと（自由記述、複数回答可）

マスク着用や手洗いうがい、睡眠など基本的なことを徹底するという回答が多く寄せられました。マスクを二枚重ねにしていたという人もいました。また、外出の際には人混みを避ける、電車の座席には座らないといった意見もありました。食事に関しては、しっかり栄養を取る、乳酸菌飲料を飲むという意見が挙げられました。毎日の生活習慣を見直し、しっかり体調を整えることで、学習におけるパフォーマンスの向上を図ることができると思います。

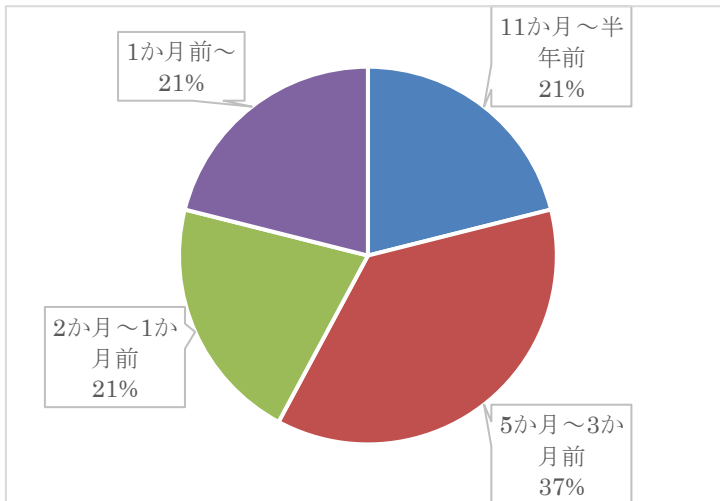
担当：水流添

8. 試験前日にはどこに泊まりましたか？



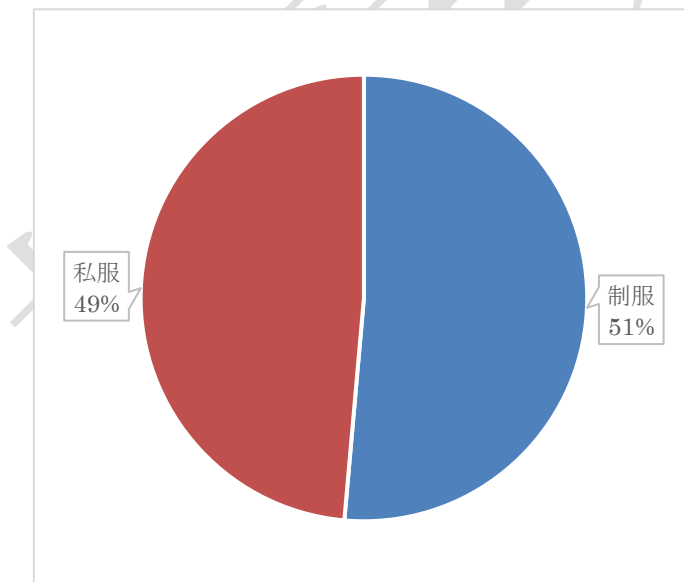
「宿泊施設」と「自宅」と答えた人が半々（宿泊施設の方がやや多い）結果でした。筑波大学は全国から受験生が集まるので、宿泊施設を利用する方は多いです。また、受験会場までは少し遠いが、自宅の方がリラックスできるから前日は自宅に泊まったという意見もありました。

9. 宿泊施設の予約はいつ取りましたか？



「5か月～3か月前」と答えた方がやや多く、残りの項目は同じ割合となりました。先ほど述べたように、筑波大学は全国から受験生が集まります。受験形態によって細かい状況は異なりますが、筑波大学周辺の宿泊施設は受験直前になればほとんど埋まってしまうので、予約するのを忘れないように気を付けましょう。

10. 当日の服装を教えてください。



「制服」と「私服」の割合がほぼ半々の結果となりました。みなさんの中に私服高校に在学している方もいると思いますが、「自分だけ私服だったらどうしよう……」という心配はあまりなさそうですね。しかしながら、受験形態によっては面接もあつたり、面接がなくても「受験」をしに大学へ行くので、制服でも私服でも身だしなみには気を付けた方が良いと思います。

11. 合格が決まった後は何をしましたか？

- 家探しと引越し準備
- 家でのおんびりしていました
- 遊んでいた
- 泣いた
- コロナ、まだ受験期間だったため家で休息、大学準備
- 部活に参加
- 情報収集のために、SNS のアカウントを作ったり、ホームページで配られた資料を確認していました。
- 英語の勉強
- 応援してくれた人への挨拶回り
- 後期残った人の応援・手伝い
- バイトの応募
- 趣味に時間を使っていた
- 大学から書類がたくさん送付されてからは、それらを記入するなどして処理していました。(回答一部抜粋)

特に多かった回答は、「引っ越し準備」「ゴロゴロする(休む)」「遊ぶ」でした。大学生活に向けて準備を進める中で、受験を頑張ったご褒美に受験期に我慢していたことをたくさんする方が多いようです。大学から入学手続等の書類も届くので、そちらも忘れずに期限内に提出しましょう！

12. 志望動機を教えてください。(学類別)

教育学類

- 自分の選択肢の幅を広げられると思ったから
 - 教員養成ではなく教育学そのものを学びたかったから。
 - 教育が有名だから
 - 教育学が強い+部活動が強い
- (回答一部抜粋)

「教育学を学べるから」という意見が非常に多い結果となりました。筑波大学は、「**教員になるための勉強(教員養成)**」よりも「**教育について(教育学)**」に重点が置かれているのが最大の特徴です。また、自分の所属する学類以外の授業を取ることができるというのも魅力の一つなのではないでしょうか。

心理学類

- 国立で一番心理学を深く学べるから。
- 心理学類では様々な領域の心理学が学べるから

- 心理学に強いところだと知っていたため
 - 筑波は心理の先生方がたくさんいて研究が充実していると聞いたから
 - 大学の雰囲気が気に入って
 - 心理学を学ぶ環境が整っていたから。
 - 心理学を幅広く学びたいと思った
 - 理系受験ができる心理学が有名な大学だったから。
- (回答一部抜粋)

「心理学をしっかりと学ぶことができる」といった意見が多く見られる結果となりました。また、大学の雰囲気や受験科目といった点も受験校を決定する際の重要なポイントとなるでしょう。

障害科学類

- 障害について最先端の知識を得られると思ったから
 - 学びたいことが障害科学類の内容と一致していたから。
 - 社会福祉士の資格を取るため
 - 小学校の教員と特別支援の教員免許のどちらも取得したく思ったから。
 - 他の大学にはない学類で、専門的な勉強ができると思ったから。
- (回答一部抜粋)

「障害についてより詳しく学びたい」という結果が多く見られました。また、自分の取りたい資格が取得できるか否かという点も、受験する前に確認しておくといいでしょう。

13. 併願校を教えてください。(学類別)

教育学類

【国公立】

北海道大学、筑波大学、広島大学、京都大学

【私立】

上智大学、早稲田大学、学習院、関西学院大学、中央大学

心理学類

【国公立】

広島大学、京都大学、山形大学、千葉大学

【私立】

上智大学、学習院、明治大学、日本女子大学、早稲田大学、立教大学、中央大学、東洋大学、立命館大学、青山学院大学、明治学院大学、専修大学、法政大学、東北福祉大学、国際基督教大学、大正大学、駒澤大学、明星大学

障害科学類

【国公立】

東京都立大学、東京医科歯科大学、高崎経済大学、都留文科大学、富山大学、茨城大学

【私立】

上智大学、立教大学、早稲田大学、法政大学、関西学院大学、愛知学院大学、明治学院大学

実際、受験はしなかったという人も含まれていますが、併願校を決める際の参考にしてください。これを読んでいるみなさんのお役に立てればとても嬉しいです。

担当：中田

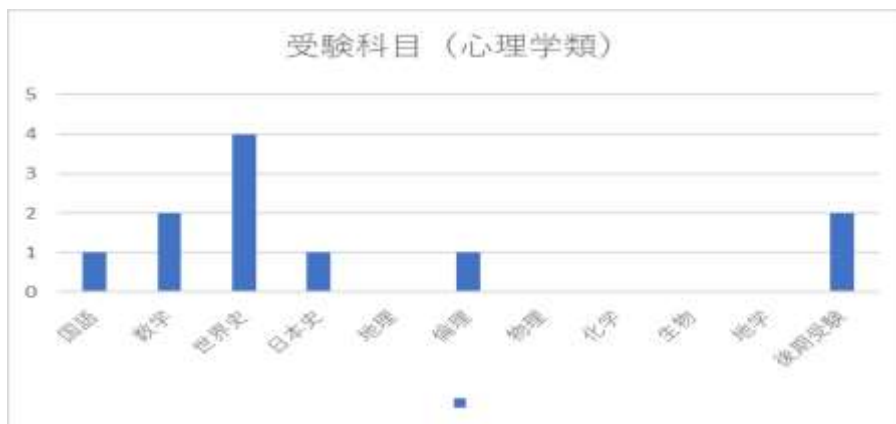
復習禁止

受験体験アンケート（一般）

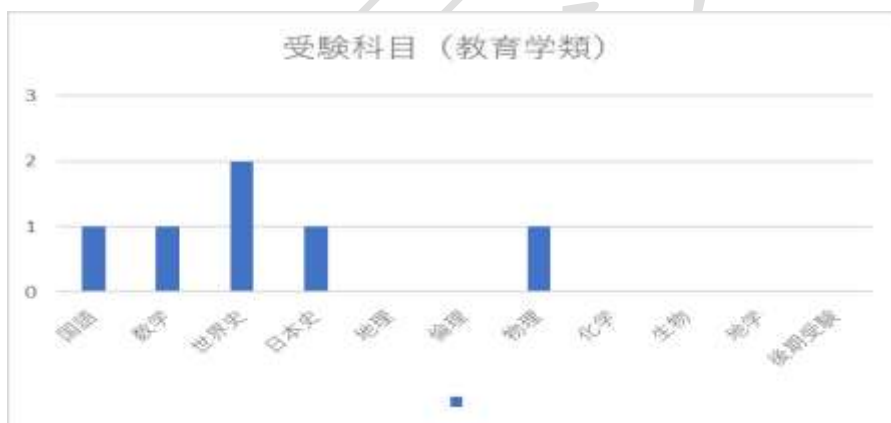
人間学群一年生の方々に実際の入試試験に関するアンケートを取りました。これを読んでいるみなさんの参考になればと思います。

1. 英語以外の受験科目を教えてください

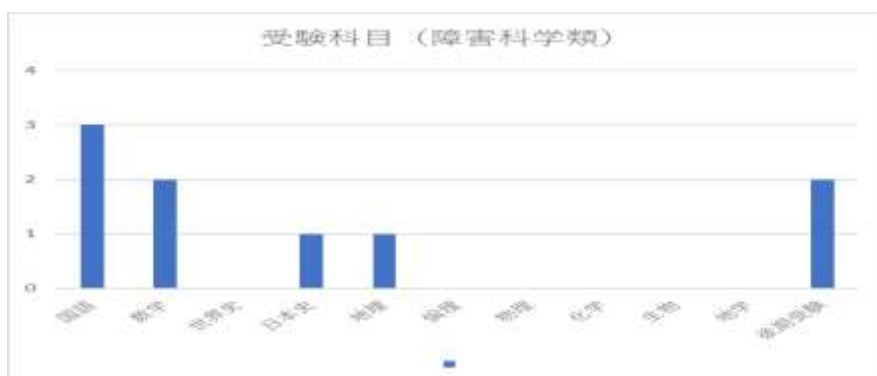
心理学類



教育学類



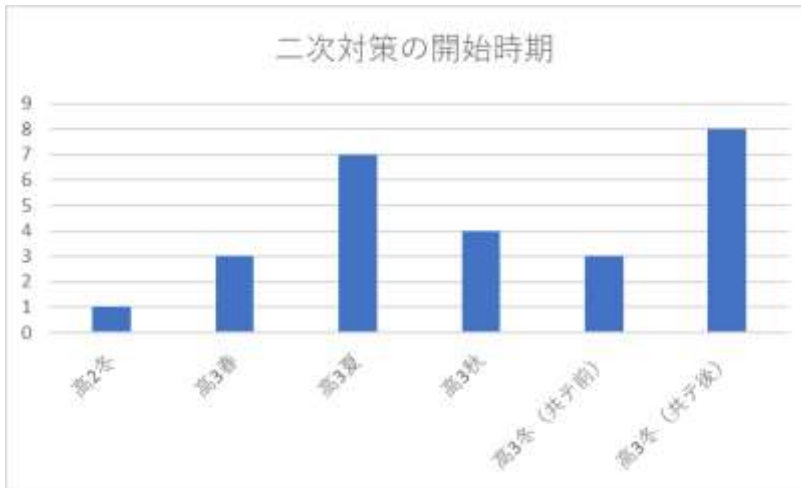
障害科学類



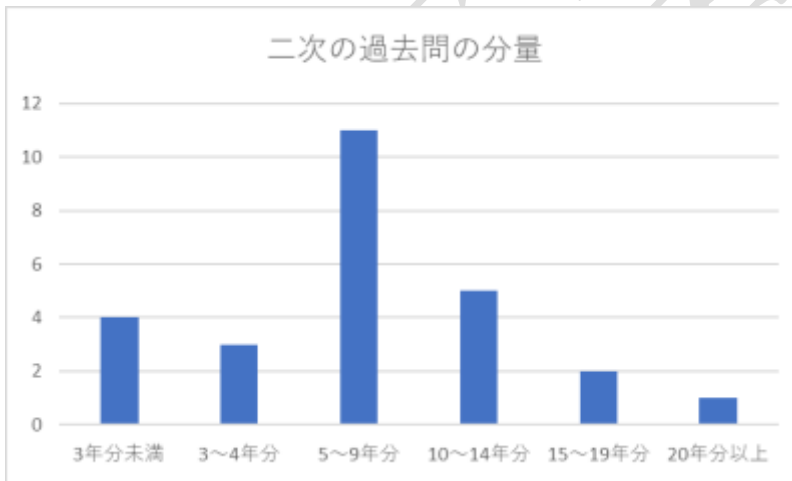
(これはあくまでアンケートに協力してくださった方々の受験科目ですので、実際はもっとたくさんの方がいろいろな科目を受け、合格しています。ご了承ください)

合計 26 名の間人学群生に回答いただきました。ありがとうございました。

2. 二次試験対策を始めた時期を教えてください



3. 二次試験の過去問を何年分解いたか教えてください



4. 受験勉強を終えてよかったことや後悔していることを教えてください

よかったこと……

- ・ 確実に頭がよくなっていると思うよ
- ・ 頑張ったら結果がついてくることを知れた
- ・ 世界史の面白さが分かった
- ・ 私立対策をあまりせず筑波の過去問を重視したことが良かった
- ・ 全力を出し尽くせたこと
- ・ 大学では自分の好きなことを勉強できる！

- ・合格した時の高揚感は忘れられない
- ・過去問を解いて出題の大まかなパターンを掴んでおくことで、当日も落ち着いて解くことができたのが良かった
- ・英語に関していえば英作文を複数人で読み回すなどして添削したことが生きたのだと思います。また、神戸大学など他大学の読解をしたことも大変良かったです
日本史に関していえば段階を踏んで徐々に文字数を増やしていくなど自分に合ったやり方でやったのが良かったかなと思います
- ・日本史の論述が大変だったけど本質的に理解ができた気がするし大河ドラマ見るのが楽しいです
- ・志望校の赤本のみをこなして満足するのではなく、似た問題形式の、他の大学の赤本や模試も取り組むことで、色々な問題と解答に触れることができる
- ・塾講師のバイトが出来ること
- ・私立や二次のための勉強を一旦やめて共通テストのための勉強を冬休みから集中して行ったため、共通テストの段階でアドバンテージが出来たこと
- ・夏休みのうちに世界史の記述を一年分解いて、どんな問題か把握しました。その段階では全く解けませんでした、目標がはっきりして良かったです
- ・ストレスが減ってよかった
- ・倫理受験に関しては本当に母数が少なくて学校の先生とあくせくしながら解いたのはすごくいい思い出
- ・解放されてよかった

後悔していること……

- ・早めに勉強に手をつけて損することは無い
- ・もう少し早く受験勉強を始めて、自信をつけてから受験したほうが良かったかなと思う
- ・もっと頑張るべきだった
- ・もっと計画立てて勉強すればよかった
- ・過去問はもっと早く始めるべきでした
- ・世界史は、理解と詰め込みを同時並行ですべきだった。理解を待ってから詰め込むようではおそい
- ・英語の勉強は単語など、早い段階からやっておけば良かった
- ・共通テストが大嫌いだったので終わった段階でめっちゃ気が抜けて APEX にはまってしまった。おかげで私大過去問一つも解かずに突入することになってしまったのはちょっと後悔している
- ・倫理は記述なうえに分量もエグいので心配性な私は平成 33 年分全部解きましたが、あまりおすすめしません。傾向全然違いました。でも知識の確認くらいには役立つので暇とお金ある人はやってもいいかもです
いかがでしたでしょうか。このアンケートの結果が少しでもみなさんの参考になればうれしく思います。

担当：荻野

受験体験アンケート(推薦入試)

1. 試験当日の服装を教えてください

回答した 29 人のうち、27 人が**制服**と答えました。私服の高校のため、なんちゃって制服を着たという人、学ランにセーターを合わせて着たという人も 1 人ずついました。私服・スーツの人もそれぞれ 1 人ずついました。

2. 試験対策は何をしていましたか

教育学類

- ・小論文対策、ニュースを見て教育について考える機会を増やす
- ・小論文：英語の長文を沢山解く、文章を書く練習をする 面接：先生との面接練習 書類：志望理由書を書く
- ・英語長文、小論文、面接
- ・小論文は過去問を 3 年以上解き、毎回添削をお願いしていた。面接は学校の先生にお願いして試験官になってもらっていた。また、志望理由書の内容を軸にして話がぶれないようフローチャートを作るなどしていた。
- ・過去問、英字新聞、面接練習
- ・過去問を何度もやる、面接練習、英語の勉強
- ・問題形式に慣れ、教育の分野の論文でよく登場する英単語の傾向をつかむため、過去問 6 年分を解いた。7 年前以降は設問の形式が違っていたのでやめた。志望理由書の準備と面接練習をしながら自分の考えややりたいことを具現化していった。教育問題のトレンドについて知るために最も有効だったのは、新聞を読み、記事の内容を要約する作業をしたこと。

心理学類

- ・英単語帳の暗記、同じ過去問を 2 回以上解く、共通テストの対策
- ・過去問を解く、英検準 1 級の単語帳で単語の知識を増やす、面接練習
- ・小論文、面接練習
- ・英単語、小論文、面接練習
- ・面接、小論文
- ・学校の先生や親との面接練習、小論文は過去問を解いて添削してもらった
- ・赤本と面接練習
- ・先生と心理学系の英語の論文を読んで対策、面接練習
- ・過去問を解いて英語の先生に見てもらおうこと、色々な先生と面接練習
- ・過去問
- ・psychology today というサイトで論文を読む、英単語の勉強
- ・過去問を解いて傾向と対策をつかむ
- ・過去問を解く、面接練習をする、心理学の知識を増やす

- ・小論文の過去問3年分と面接で問われるだろう質問の予想

障害科学類

- ・放課後に面接練習、自分の考えをノートに書く
- ・面接練習、福祉系の日本語の小論文、筑波大の一般入試の英語
- ・英単語暗記、和訳・要約練習、障害に関する知識・英単語を学ぶ、時間を測って過去問を解く、学校の先生との面接練習
- ・小論文、面接練習、英語の長文を読んで要約
- ・過去問2年分
- ・過去問を5年分解いた、障害についての知識を少し増やした
- ・小論文の過去問(2009までやりました)、面接練習(6回くらい)
- ・過去問と面接練習、視野を広げるために障害に関わるテレビや動画を観ていました。

3. 受験を終えて良かったこと、後悔していることを教えてください

教育学類

- ・落ちてしまったものの、大学で試験を受けたことで、一般入試の際に緊張しなかった
- ・志望理由書を軸に、面接練習を進めていくとよい。当日は緊張せず自分の力を発揮することを考える。面接のときは試験官と喋っているのではなく、教授の方々とお喋り感覚でいくとよい。そこで面接を楽しめた方がよい。一般入試との両立はしっかりする。計画的に進めていた方がよい。
- ・改めてこの大学に行きたい理由を明らかにできる。自分の強みを直接伝えられる。後悔していることはありません
- ・担任の先生に勧められるまで一般受験しよう
- ・英字新聞はすごく役に立った。もっとしっかり読んでおけばよかった
- ・どれだけ多くの人が自分のために協力してくれていたかがわかってよかった。教育のことや英語のいい勉強になったし、早く受験を終えることができた分、自分の好きなことに時間を使えたのが良かった。逆にその期間でもう少し勉強しておけばよかったとも思っている。
- ・何としてでも筑波大で学びたい理由があり、熱意と入学後のビジョンが自分の強みだと思っていたので、それを評価してもらえることは推薦入試の最大の魅力だと感じる。筑波大でなければならぬ理由がはっきりしている方は推薦を受けるべきだと思う。面接練習は、厳しいことで有名な先生方に面接官役をやってもらい、これなら本番も怖くないと自信を持っていたが、試験本番は初対面の大人とコミュニケーションを図る難しさに愕然とした。接点のない、自分のことを知らないような先生方をお願いして面接練習をしておいた方が絶対にいいと思う。

心理学類

- ・筆記試験でほとんど解けなかったけど、諦めずに面接を頑張れたこと
- ・早く決まるので受かれば楽。推薦は不合格でも一般で受かっている人もいるので、受けてみる価値はあるかと思う。

- ・面接試験を経験できてよかった
- ・過去問を沢山解いたのがよかった
- ・面接であまりテンプレを考えていかないこと。箇条書き程度に抑えて自然な自分の言葉で話せるようにする。
- ・自分の目標や興味に向き合う時間になったこと
- ・受かってよかったなと思います
- ・(面接で詳しく聞かれたわけでは全然ないけど) 早いうちからもっと心理学の本とか読んでおけばよかった。他の勉強と並行してやるのはちょっとしんどかった。
- ・推薦を受けてよかったです
- ・よかったのは、リラックスして自分のペースで小論文も面接も終えられたこと。後悔していることは、絶対に落ちたと思って学校に「落ちました」と報告したこと。あとから謝り倒して書類を書き直させていただきました。
- ・宅通に優しくないことを知っておけばよかった
- ・一般では絶対に合格できなかったのも、推薦を受けてよかった。デメリットは共通テストに向けた勉強との両立が難しいこと。
- ・推薦に全てかけようという気はなかったのも割と観光みたいな気分でもとても楽しめた。けれど、それゆえに対策がうまくできなかったのもそこは残念。受験にあたって提出必須である志望理由書は今でも読み返すほど自分の原点になる。真剣に書くと後々になってモチベになったりします。

障害科学類

- ・早く試験結果が出たので大学への準備期間が長かった。推薦を受ける上での後悔は特にない。
- ・早めに新生活の準備ができてよかった。
- ・よかったこと：早く合格が決まったこと 後悔していること：一般の人より勉強が疎かになったこと
- ・過去問をしっかりと解き傾向を捉えたこと、学校・習い事の英語の先生に添削してもらったことが良かった。
- ・自分は何をしたいのか、どんな人になりたいのか見直せた、後悔なし
- ・楽しんで受けられたから良かった
- ・受験勉強がすぐに終わってほっとしているうちに学力が下がってしまった
- ・面接も小論文も回数はこなしておいてよかったと思います
- ・面接をいろいろな質問を想定して準備していたことや、高校時代にいろいろな経験をしたことが良かったです。時間配分ができなかったのも、もっと多くの小論文で時間も気にしながら対策しておくべきだったと思いました。

担当：中村

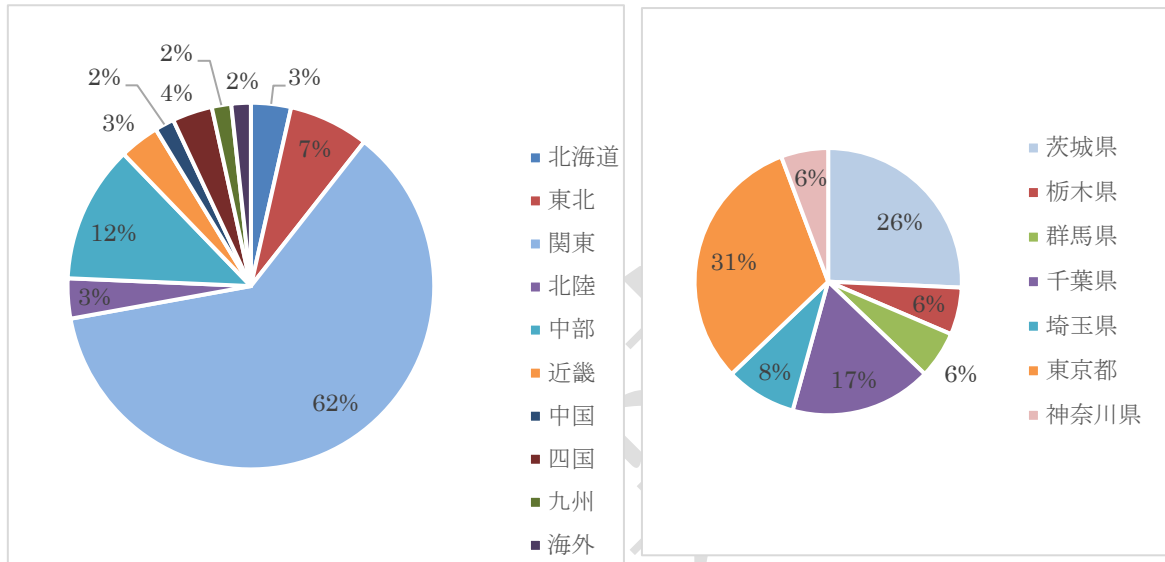
学生生活



学生生活アンケート集計結果

ここからは、人間学群の1年生を対象に行った学生生活に関するアンケートの結果をもとに、筑波大生の生活の様子をチラッとお見せしたいと思います！皆さんの合格後の姿を思い浮かべながら読んでみてください。

・出身地



関東勢が6割を占めていますね。ですが毎年、北は北海道、南は沖縄、そしてさらに海外からも生徒が集まっています。そのため多くの方が実家を離れ、一人暮らしをしたり宿舎で生活をしたりしています。つくばと地元では全然違う……とカルチャーショックを受けることもしばしばあります。筆者は地元で使っていたソースがつくばのどこにも見当たらずに絶望しました。

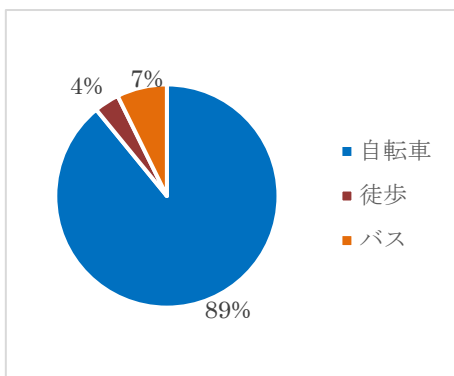
・筑波大学の好きなところ

- 1位 自然豊か
- 2位 広い、施設が充実している
- 3位 色々な人がいる
- 4位 他学類の授業が受けられる
- 5位 周囲にご飯屋さんがたくさんある

筑波大学の敷地はとても広大です。東京ドーム55個分だそうです。言い換えると東京ディズニーランド約5個分です。緑に囲まれたテーマパーク、それが筑波大学です。

また、他学類の授業が受けられるのも筑波大の特徴のひとつです。アンケートの回答の中には「体育専門学群のむきむきイケメンが見られる」というものもありました。授業で同じになればむきむきイケメンとお近づきになれるかも……！

・キャンパス内の移動手段



前述の通り、筑波大学の敷地はとても広いので、授業間の移動など自転車は必須です。アンケートでも 9 割の人が自転車を利用していると回答しています。雨の日はバスを利用する人もいますが、時間通りに来ないことが多いです……。

先輩の中には車を使っている人もいますよ！ 車があると行動範囲が広がるので、免許取得も視野に入れてみてはどうでしょうか？

・オンライン授業、どうですか？

コロナ禍の中、筑波大学でもオンライン授業が行われています。そこで、オンライン授業はどんな感じか、率直に答えてもらいました。

- ・ 楽
- ・ 自分のペースで進められる、巻き戻しができる
- ・ 起きる時間や移動時間を気にしなくていい
- ・ 課題が溜まりがち
- ・ 孤独、さみしい、友達ができない
- ・ 相談や質問がしづらい

メリットもデメリットもある、という感じですね。オンライン授業はとにかく自己管理が大切です。気づくと同じ日に締め切りの課題がたくさん……！ という状況になりかねません。入学する前に勉強する習慣をしっかりとつけておくと良いでしょう。

・恋人 or 好きな人はいますか？

恋人がいる……20%

恋人はいないが好きな人はいる……13%

どちらもいない……67%

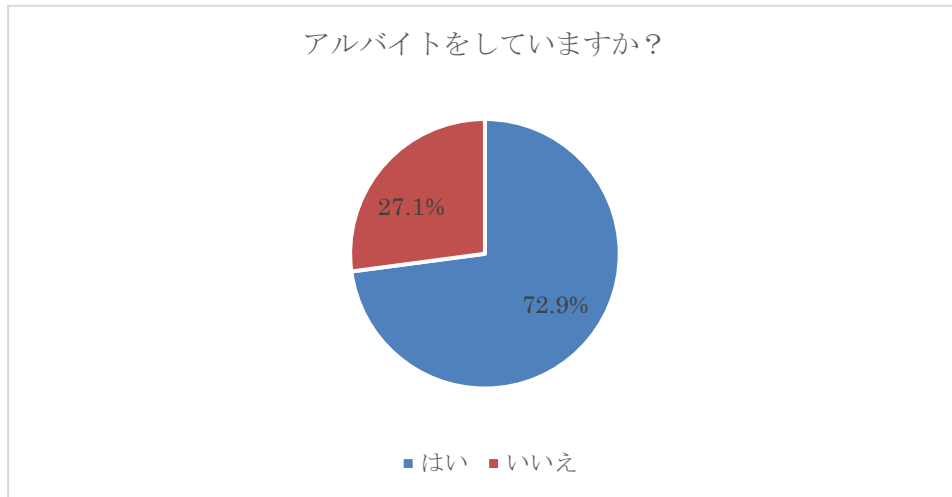
大学生活、やはり恋人が欲しい……！ という人も多いのではないのでしょうか。学類、サークル、バイトと出会い先はとても多いわけですが、そこで良い人を見つけられるかは神のみぞ知るところです。

とにかく、この 20%の中に入りたいと思うのなら努力が必要です。想い人のハートを掴むために頑張らないといけません。筆者は恋愛に励むみなさんを等しく応援します。ですがまずは何より受験勉強を頑張ってください。応援しています！

担当：柴田

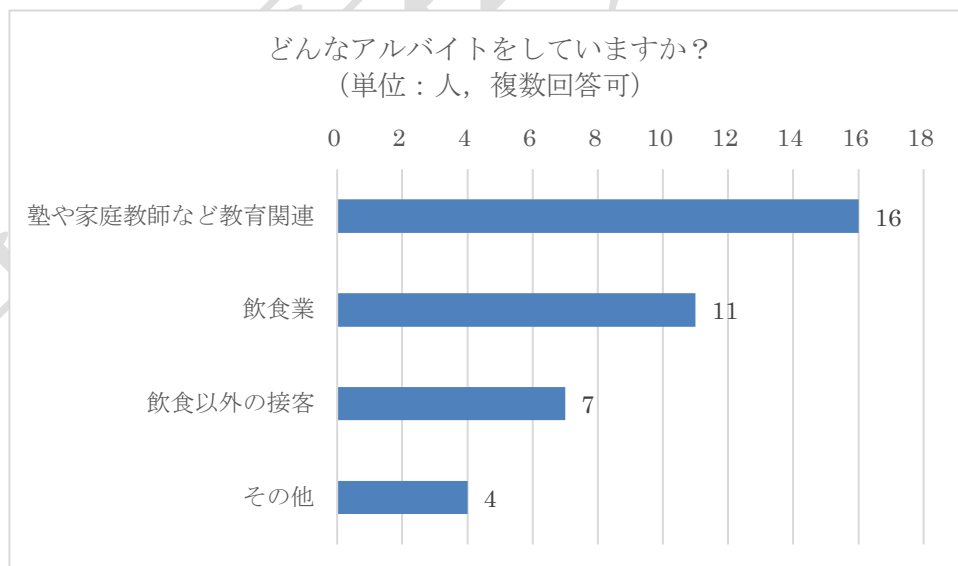
○アルバイト

大学生になったら、自分で働いて色んな経験をしたい！ でもどんな仕事があるのかな？ 楽しみな方、不安な方様々だと思います。そんな皆さんに向けて、ここでは人間学群の皆さんに、アルバイトについて聞いていきます！



はじめに、アルバイトをしているかどうかについてです。およそ7割の人がアルバイトをしている結果になりました。大学では、筆者も含め、アルバイトをしている人は多いです。今くらいの時期(アンケート当時7月)だと、バイト先を探しているという話もちらほら。

続いて、アルバイトをしている人たちはどのような場所で働いているのかを見ていきましょう！



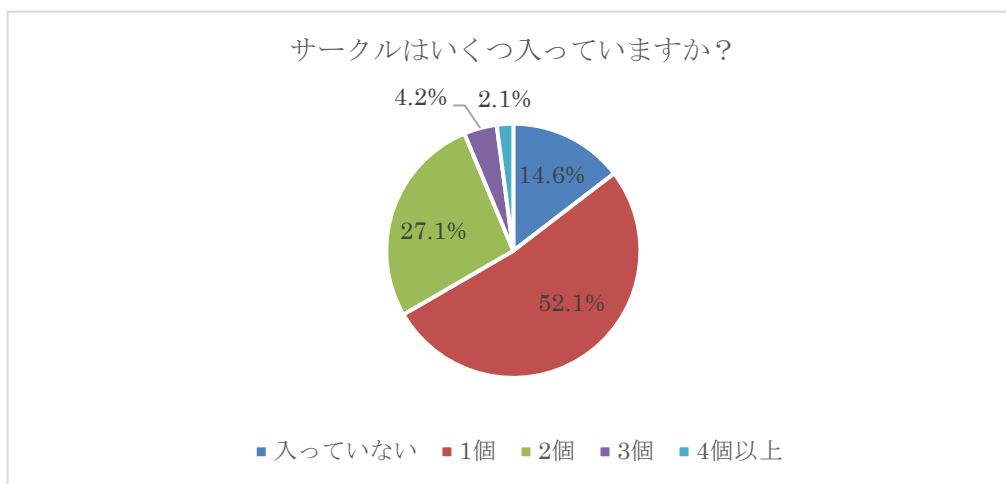
最も多いのが塾や家庭教師など教育関連で、飲食業、接客その他と続きます。このご時世だからか、教育関連ではオンライン家庭教師といったものもあるようです。その他には、某倉庫バイト等の回答がありました。

アルバイトは、働く頻度や期間、賄いなどの福利厚生も様々です。自分のライフスタイルに合わせて、ぴったりのアルバイトを見つけましょう♪

○サークル

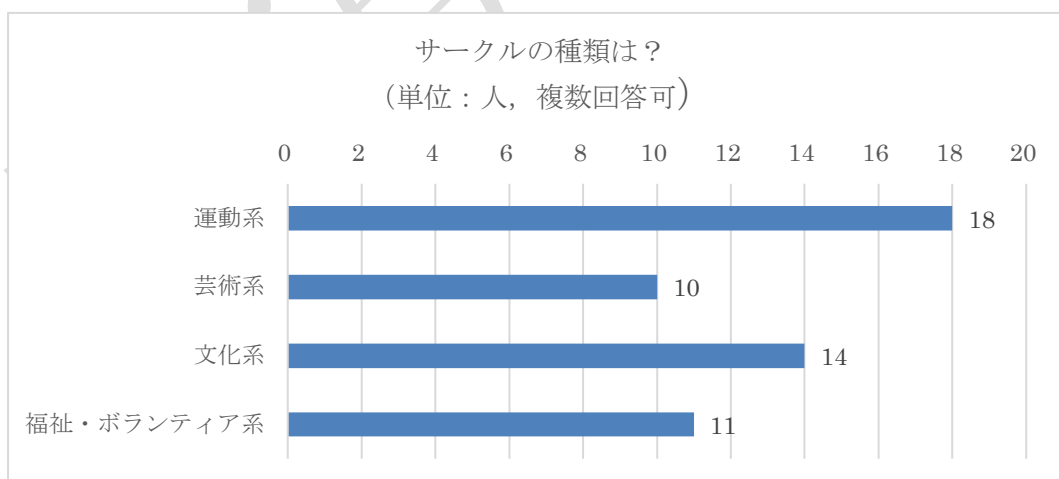
ここでは、人間学群生のサークルについてみていきましょう！ 大学生といえばサークル活動ですよ！ 自由度がぐっと広がり、個性豊かなサークルがたくさん。名前だけではどんな活動をしているのかわからないことも……？

まず、人間学群生はいくつのサークルに入っているのか。結果がこちらです！



アンケートによると、8割以上の方がサークルに入っているようです。もちろんサークルは強制ではないので、入っていない人もいます。アンケートでは1つの方が最も多く、中には4つ以上のサークルを掛け持つ猛者もいるようです。サークルに入らずに自由に好きなことをするもよし、入って活動を楽しむもよし。自分だけの大学生活を楽しみましょう！！

次に、サークルの種類についてです。結果はこちら！



運動系が最も多く、次いで文化系、福祉ボランティア、芸術を続きます。コロナウイルスの影響でどうしても家にこもりがち……かくいう筆者は芸術系のサークルに属していますが、春学期は数少ない対面授業の一つである体育が良いリフレッシュになっていました。

筑波大学には、非常に多くのサークルがあり、活動内容やサークルの雰囲気から、自分にあったものを見つけられると思います。大学に入ったらどんなことがしたいか、調べたり想像してみたりして、勉強のモチベーションを上げるのもおすすめです！ 担当：上野

「人間ちゅーもーく！！」

「なーにー??」

ここからは我々が人間学群について紹介していきます！筑波大学の学群生には人類が1万人弱いますが、人間はわずか500人ほどしかいません。何を言っているか分からないって？ みなさんも筑波大学に来れば分かるようになる！はずです！

○人間学群を一言で表すと？

- 1位 優しい
- 2位 人間
- 3位 少数精鋭
- 4位 いい人がいるところ、楽しい
- 5位 真面目、よくわからない

ほかにも、平和、みんな仲良しといったような票が目立ちました。やはり、人間学群は人間味が強い人が多いのですね。

また、個性豊か、特殊という票もありました。筑波大学のレアキャラですね。

○人間学群の好きなところ

- 1位 優しい人が多い
- 2位 先生が優しい
- 3位 人数が少ない分、仲良くなれる
- 4位 穏やかな人が多い、キラキラすぎない
- 5位 意識が高い、目標や夢を持っている

このランキングからもわかる、人間学群の人の良さ。本当にみんな優しくて雰囲気が良いです。

他の意見としては、名前が好き、「人間」学群なのが奇抜で好きという意見もありました。すごく分かりますー、私も気に入っています！他の大学の子に「どこの学部なの？」と聞かれて「人間だよ！」と答えると相手が不思議そうな顔をするので、それがとても気持ちいいです（笑）。

以上、人間学群の紹介でした。

どうでしたでしょうか。これを読んでいる皆さん、人間の魅力に惹かれたことと思います！先生も先輩も優しい方ばかりですし、学生もそれぞれ夢や目標を持っていて、最高の学習環境だと思います。ぜひ筑波大学人間学群に来てください！頑張れ～！受験生！

担当：浜野

学生宿舎について

筑波大学には、一の矢、平砂、追越、春日の4つの宿舎が存在しているのですが、人間学群の学生は基本的に「一の矢宿舎」に入居しています。学生宿舎は未知の領域であるにも関わらず、ネットで調べてもあまり情報が得られないので、この記事を読んでぜひ参考にしてほしいと思います。今年度宿舎に入居した一年生へのアンケートを中心にまとめました。

1. 基本情報

・部屋

広さは6畳程度と記載されていることが多いですが、実際はもう少し狭いです。部屋の形は長方形型（一番多い）、正方形型、L字型の3種類あり、どれに当たるかは入居当日までのお楽しみです。ちなみに、面積は三つともほとんど同じです。

・各部屋に備え付けられているもの

備え付けられているのは、水道、洗面台、ベッド（でかい）、机（でかい）、回転いす、暖房、電灯、Wi-Fiです。暖房は12月近くになると使えるようになります。ただし、自分でつけたり消したりできないのが難点です。朝は勝手について、夜は勝手に消えます。冷房（エアコン）は後からつけたい人だけ電気屋さん頼んでつけてもらいます。冷房がないと、かなり暑いです。

・トイレ

共用で、各階にあります。トイレトーパーは清掃員の方が補充して下さいます。掃除もして下さいます。ありがたいです。

・キッチン、洗濯機・乾燥機、コインシャワー

共用で、1階と2階の間、3階と4階の間にあります。キッチンに食材や食器、調理器具を持ち込んで各自調理します。部屋で食べたり、そのままキッチンにあるテーブルで食べたりします。ちなみに、IHを買えば部屋で調理することもできます。洗濯機、乾燥機、コインシャワーは一回100円です。100円玉です。つまりこの宿舎では、100円玉がないと清潔な人間として生きられないのです。シャワーのみで、浴槽はありません。

2. 一の矢の生活に必要なモノ、スキル

生活に必要なモノ
<ul style="list-style-type: none">・大量の100円玉・虫除けグッズ、ゴキブリ退治セット・突っ張り棒(洗濯紐)・除湿機、除湿剤・角材・エアコン(なければ扇風機)

自転車、バスの定期、電子レンジ、IH、電気ケトル、掃除用のアルコール(カビをとるため)、シューズラック、マグネットのフック

生活に必要なスキル

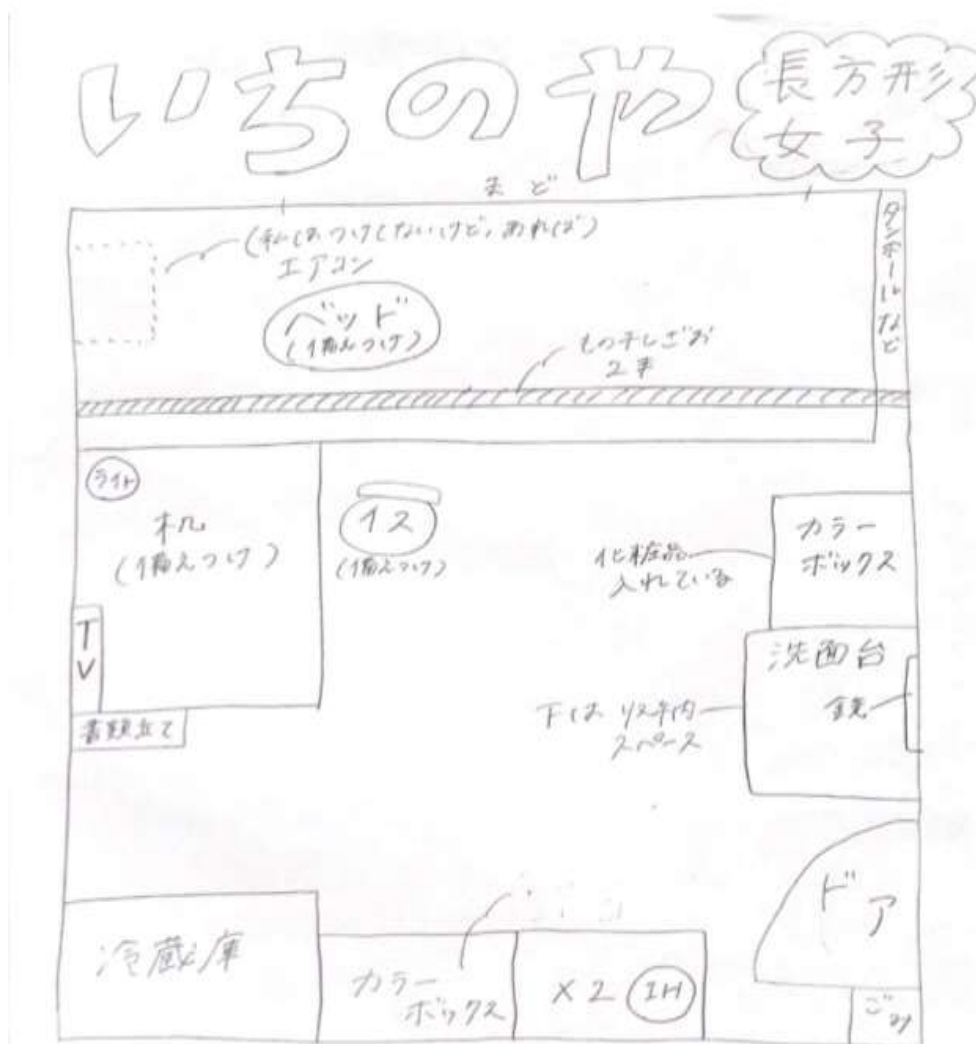
〈虫関係〉

虫はルームメイトだと思い込むこと、虫退治スキル、虫を養いながら暮らす覚悟

〈その他〉

とにかく部屋を綺麗に保つこと、収納する力、トイレの汚さにある程度寛容であること
スルースキル、高い生活水準を求めない気持ち、森を楽しむ心持ち、人に頼る力、他人の気配を気にしない図太さ、日々の消費の中で100円をゲットするスキル、自転車を長くこげる体力、この環境への適応力

3. スペース利用例



4. 一の矢宿舎に住むメリットとデメリット

メリット
<ul style="list-style-type: none">・家賃光熱費諸々が安い・学類内外の友達ができる、時間を気にせずすぐ会える・大学の第二エリア（人間学群の授業がよくあるエリア）に近い・豊かな森がある <p>〈その他〉 部屋が狭いためすぐにエアコンが行き届く、先輩とも知り合える、セキュリティも万全、色んな意味で強くなれるといった意見もありました</p>
デメリット
<ul style="list-style-type: none">・狭い。・虫が多い。君は直径 10cm の虫が出ても冷静でいられるかい？・湿気がすごい。部屋がかびる。・文明圏からひたすらに遠い（近くにスーパーがない、買い物できるところがない、バイト先も大抵遠い）・キッチン、トイレ、シャワーが共用。洗濯機やシャワーが有料。 <p>〈その他〉 浴槽がない、シャワーに金がかかるので浴びたくなくなる、人にバカにされる、友達を呼べない、クーラーなしだと暑い、汚い、共同生活が向いていないとつらいといった意見もありました</p>

5. 二年目以降はどうなるの？

一の矢学生宿舎は基本的には 1 年契約です。（2 年契約もできる場合がありますが、来年度もできるかは分かりません。）2 年生以降も住みたい方は、以下の三つのどれかになります。（すべて抽選なので、外れてしまうこともあります）

- ・コミュニティーリーダーになる：新 1 年生が住む棟に、先輩として引続き住みます。これは 1 年契約です。
- ・二人部屋の単身使用：二人用の広い部屋に一人で住めます。すごく広いみたいです。これも 1 年契約です。
- ・継続入居等：2 年生以上専用の棟に引っ越します。こちらは卒業まで契約できます。

6. 障害学生が住む宿舎

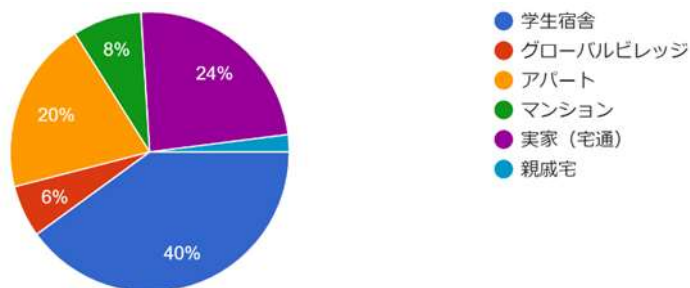
障害学生は一の矢学生宿舎の留学生を受け入れている棟の 1 階にあるバリアフリー対応の部屋に入居できます。部屋の大きさは 10 畳ちょっとあり、玄関も広いので車椅子を置くスペースも確保できます。部屋の間取りは各部屋で違っており、浴室にシャワーのみ設置してある部屋や、浴槽もある部屋など様々です。また、緊急事態があった時に押すボタンが各部屋に 2 つあります。ただ、間違っって押してしまうこともあるので、入居したら対処の仕方を周りの先輩に聞いてください。上の階には留学生が住んでいて話しかけられることも多く、楽しいです。

担当：武居

アパートでの生活について

入学当初からアパートに住む人、2年生や3年生になって学生宿舎からアパートに引っ越し人など、筑波大学生の多くが在学中にアパート暮らしを経験します。そこで、ここではアパートでの生活について紹介していこうと思います！

アパートに住む人の割合は？



上のグラフは、2021年7月に人間学群の1年生を対象とした居住地調査を行った結果です。アパート・マンションを合計すると3割弱(28%)と少ない印象を受けるかもしれませんが、冒頭で述べたように宿舎に住んでいる人の多くは在学中にアパートへ引っ越すため、アパートに住む人(通称アパ民)の割合は年々増えていきます。

ここからは、2021年度人間学群1年生のアパ民を対象としたアンケート結果から、アパートの生活についてより詳しく見ていきます。

アパートに住むメリット・デメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自由度が高い →風呂・キッチンを好きな時間に使える(宿舎の場合、タイミングが悪いとシャワーの順番待ちになるそう……) 自分のリズムで生活できる ✓ 部屋が広い・収納がある(宿舎は狭くて収納が少ないらしい) ✓ 一人暮らしをする能力が養える ✓ 自炊が楽しい(←素晴らしい!!) ✓ 1人が心地良い ✓ 自分で気に入った物件に住むことができる ✓ 自分で部屋をカスタマイズできる 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 宿舎よりお金がかかる (家賃がかかる・光熱費が宿舎に比べ高い) ✓ 全て自己責任(家事など自分のことは自分で全てやらなくてはならない) ✓ 家事をコツコツこなすスキルがないため溜まっていく ✓ 友達ができない・寂しい(オンライン授業が中心のためそもそも友達が作りにくいですが、サークルや対面でのイベントなどに積極的に参加して友達を増やせるといいですね♪) ✓ 近くに住む友達がない

アパートに住む上で必要なスキル

掃除洗濯スキル・早寝早起きの能力（ゴミ出しの時間までに起きられるかどうか）・生活力・規則正しい生活リズム・寂しさ耐性・定期的に家事をやるスキル・家事のルーティーンを作る根性・整理整頓する心がけ・ゴミ出しの日を覚えておく・片付けのスキル・夜更かしをし過ぎずに自分で体調管理に気をつけることができる力・騒音を出さないスキル・時間を管理する力・自炊、掃除、諸々の自己管理能力・掃除をする意思

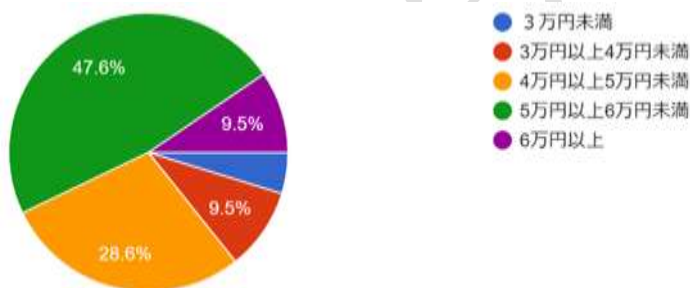
やはり家事関連の意見が多かったです。家事ができるだけでなく、続けなければならぬのが難しいところ。しかし皆様ご安心ください。上記のスキルがなくとも何とかなりません（体験談）。

アパートに住む上で必要なアイテム

掃除アイテム・コロコロ・ハンガー・レトルト食品などの簡単に食べられるもの・浴室乾燥機、なければ除湿機・友達！（←アイテム？）・床を傷つけないようにするためのマット・テレビとゲーム機・虫対策グッズ（電撃殺虫ラケット・殺虫剤）・座椅子・全身鏡・電気ケトル・電子レンジ

若干名アイテムではないものを挙げている人もいますが、やはり虫対策グッズを挙げた人が多かったです。つくばは自然豊かですからね、上手にお付き合いしましょう。どうしても虫は嫌だ！という人はマンションの上層階に住むのも一つの手です。

家賃はどのくらい？



大体 5 万円前後のものが多いようです。上手に探せば 3 万円以下で抑えられる場合もあるみたいですね。筑波大学周辺のアパートは多くの場合風呂トイレ別・インターネット無料なので（不動産屋さんが言っていました）、その他の自分のこだわりや立地、懐事情なども勘案してぴったりの物件を見つけてくださいね。

大学周辺の地区とその特徴

大学周辺はアパートだらけ！ということで、人間学群生が多く住んでいる地区を中心に地区の特徴を紹介していきます。



この地図の中は自転車で行き来できるので、自分の予算やこだわりにあった物件を見つけてくださいね♪

- ✓ 春日 4 丁目（上図クリーム色の地域）
大学・つくば駅・研究学園駅方面のどの方面へも行きやすい。（研究学園には大型ショッピングセンターがあります）
- ✓ 天久保 2 丁目（上図薄紫色の地域）
飲食店が多い。つくば駅にも大学にも行きやすい。
大きめのスーパーは遠い。
- ✓ 天久保 3 丁目（上図水色の地域）
- ✓ 天久保 4 丁目（上図青色の地域）
飲食店が近い。
大学・スーパーが少し遠い。
- ✓ 桜（上図ピンク色の地域）
百円ショップ・スーパー・ドラッグストアなどお店がたくさんあり、買い物に便利
バス停が遠いため、雨の日は大変。

アパートの間取り（一例）

靴箱	玄関	お風呂	
キッチン			洗濯機
			洗面台
冷蔵庫		トイレ	
机			食器棚
ベッド		ローテーブル	テレビ台 &テレビ
ベランダ			

お恥ずかしいですが、私の部屋です。諸事情ありアパート探しに出遅れたのですが、運よく広めの物件に巡り合えました。

アパートの生活について、説明は以上です。いかがでしたか？ 自分一人で生活をするというのは、寂しさもありますが楽しいものです。これを読んで「アパートでの一人暮らし、楽しそう！」と読んでいただければ幸いです。

担当：河村

グローバルヴィレッジについて

こんにちは。筑波大学には、計 5 つ（春日、追越、平砂、一の矢、グローバルヴィレッジ）の宿舎が存在しますが、今回はその中でも特徴的なグローバルヴィレッジ（以下グロビ）について紹介します。筆者は残念ながらグロビに住んでいないため、グロビに住む友人たちにアンケートを行い、実際にどんな生活を送っているのか、メリット・デメリットなどについて調査しました。筑波大学にきてグロビに住みたい！ という方の参考になると嬉しいです。

1. グロビの場所

グロビは住所でいうと「天久保二丁目」に位置し、つくばセンターから出ている大学の循環バスを利用する場合は、**天久保二丁目**（左回りが近い）か**追越学生宿舎前**（右回りが近い）で降りると良いです。つくばセンターと人間学群のある第二エリアのちょうど中間あたりに位置しています。

2. どう「グローバル」？

アンケートで最も多かったのが、「留学生と共同生活ができる」という点です。グロビでは男女別、ユニットごとの共同生活をすることができるので、同ユニットに留学生がいると仲良くなれたり、外でもよく見かけたりするそうです。中には海外の料理をシェアしてもらったという人も……！ さらに事務室の方も英語が話せるそう。

一方、コロナ禍でパーティー等が行えなかったり、同ユニットに留学生がいなかったりして未だグローバルさを体感できていない一年生もいるそうなので、来年以降に期待ですね。

3. 衣食住に関して

○設備

- ・他宿舎に比べて外観も設備も綺麗である
 - ・共用部分と自室に分かれていて、共用部にはキッチン・洗面所・シャワー室・トイレがある
 - ・ある程度新生活に必要なものはそろっている
- 具体的には……

自室：机、ベッド、布団等一式、棚、椅子、時計、ライト、エアコン、ハンガー、クローゼット

共用部：IH コンロ（3口）、電子レンジ、冷蔵庫、掃除機、時計、フライパン、ホワイトボード、トースター

- ・他宿舎と異なりベランダに洗濯物を干せる、ゴミもいつでも出して良い
- ・洗濯機と浴槽はない（次ページで説明します）

○入浴・洗濯など

入浴は浴槽がないので、シャワー室で済ませるか隣にある平砂の浴場を使います。

洗濯は、敷地内に一回 100 円（乾燥機は 15 分 100 円）のコインランドリーがあるのでそこでします。外部のコインランドリーよりは安く、男女別なのでトラブルも起こりにくいと思います。

○食事

共用キッチンで料理が可能です。先ほど設備で電子レンジとトースターを挙げましたが、これは過去の住人や他のユニットメンバーのものである場合も多く運だという話もありました。現在はコロナ禍で食事は各自とっている場合がほとんどのようですが、時々みんなで作ってパーティーをしたり、冷蔵庫に留学生が自国の食材を入れていたりするユニットもあるようです！ 近くにカスミ筑波大学店があるので買い出しには困りません。

4. グロビの良いところ、悪いところ

○良いところ

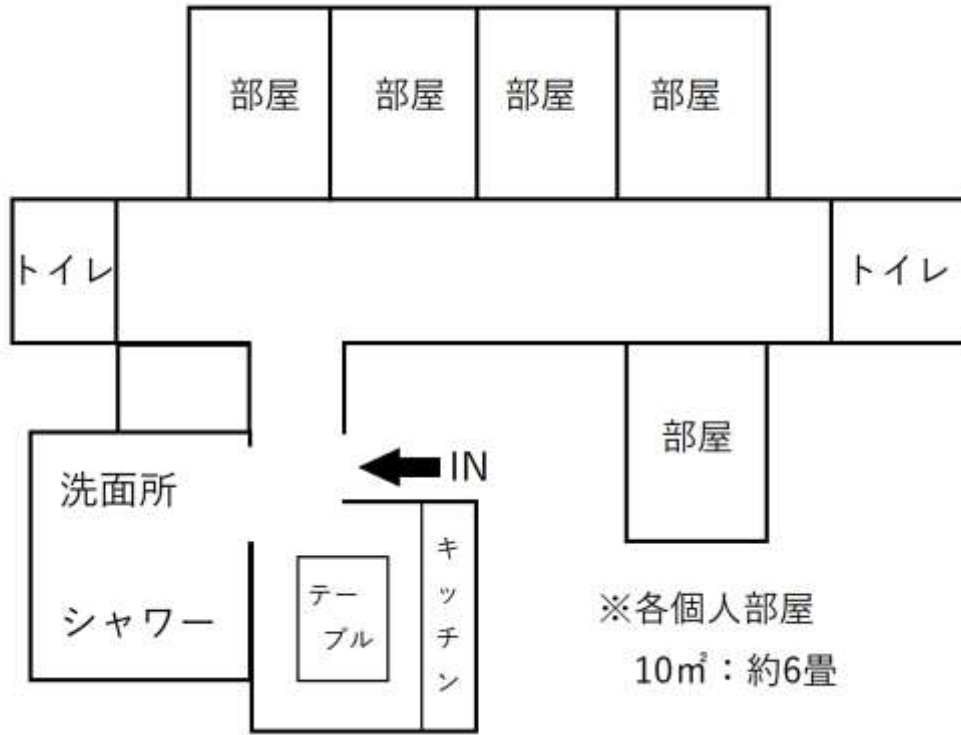
- ・共同生活なのでさみしくない、友達ができる
- ・設備が綺麗かつセキュリティ面も安全
- ・光熱費や水道代が安く済む
- ・学生寮だが門限がない
- ・立地で不便することがない（スーパーやバス停が近い）
- ・新生活に必要な設備が備え付け

○悪いところ

- ・生活音に配慮する必要がある（これはグロビに限らずですが……）
- ・共用部の掃除を分担して行わないと汚くなりがち
- ・異性を部屋に呼ぶのはもちろんダメ、友達を呼びにくい
- ・同居人との相性などが大きくかかわる
- ・コロナ禍であまり交流がない……

5. グロビのレイアウト

筆者が実際に住んでいないので、今回は全体のレイアウトだけ載せておきます（部屋まで載せられなくてすみません……）。各個人部屋は約 6 畳ほどだそうです。個人部屋のレイアウトまで気になる方は、HP など各自調べてみて検討することをお勧めします！



担当：宗田

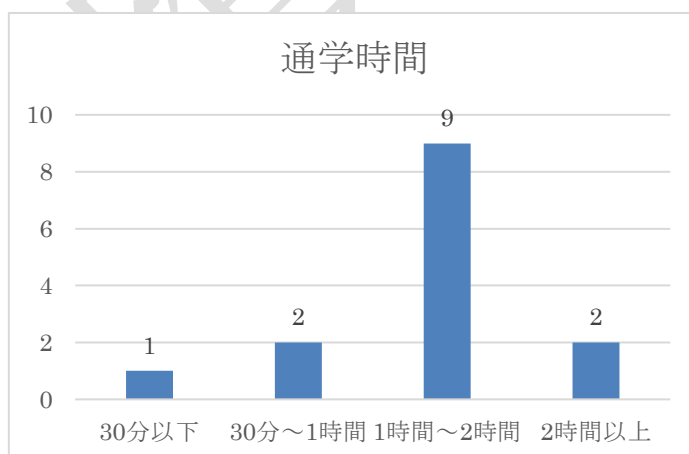
自宅通学（通称・宅通）について

大学付近の宿舎やアパートに住む人が多い筑波大学ですが、数少ない『宅通』の皆さんにそのメリットやデメリットについてアンケートを実施しました。併せて、通学時間と何県から通学しているかも聞いてみたので、参考になれば嬉しいです。

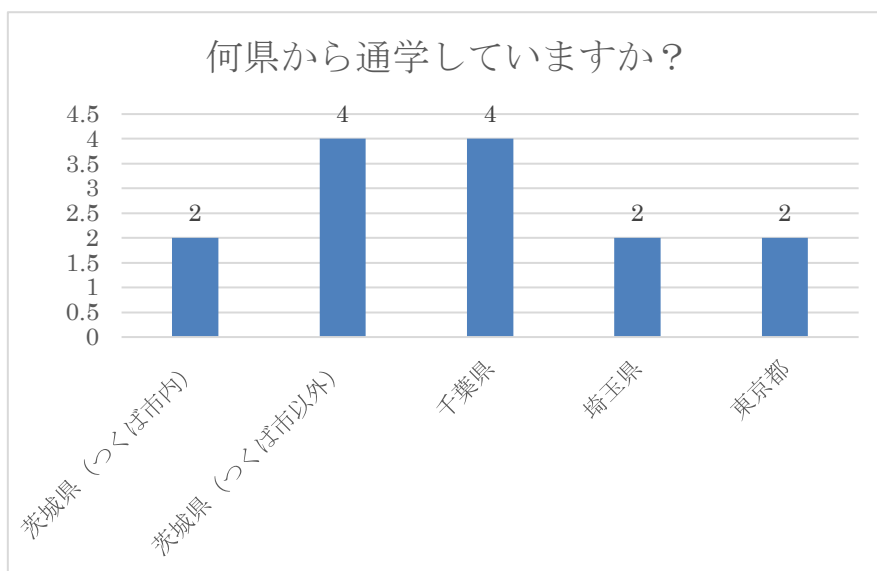
メリット	デメリット
・さみしくない	・一限のために早起きしなければならない
・家事をしなくてよい	・夜、終電を気にしなければならない
・話し相手がいる	・交通費がかかる
・地元の友達と気軽に会える	・バイトのシフトに制限がかかる
・帰るとご飯やお風呂が用意されている	・大学の友達ができにくい、会いにくい
・お金の心配が少ない	・少しの用事で大学へ行く時間が惜しい
・バイトの時給が良い	・通学時間がかかる
・虫が出て家族が対処してくれる	・遊びにくい
・健康的な生活が保たれる	・大学生感がない

時間的制約があることは宅通の方々にとって、大きなデメリットになっているようです。一方で、長い通学時間を有効に使えば、読書や勉強もはかどります。また、疲れて帰ってきた時に、ご飯やお風呂が用意されていることは、精神的にも大きな支えとなることでしょう。

・『宅通』の通学事情



1時間～2時間かけて通学している方が多いようです。この長い通学時間を有効に使えたら、時間を無駄にせず学校生活を送れそうです。音楽を聴く、読書をする、勉強をする等、自分なりの時間の使い方を見つけましょう。パソコンを開いて課題をやっている方を見かけたりもしますよ。



つくば市内外問わず茨城県から通学している方が一番多い結果になりました。その他三県も関東でした。交通の便を考えると、同じ関東でも栃木県、群馬県から通う方は、あまりいないようです。この結果は、人間学群 1 年生のものですが、他の学群の先輩には福島県から通っている方、栃木県から車で通っている方もいるそうです。

ここまで簡単ではありますが、宅通について紹介させていただきました。いかがだったでしょうか。時間的なことを考えると、周りを羨ましいと感じることもあるとは思いますが、先に挙げたように宅通にもメリットがあります。宅通を考えている方は、これらのメリット・デメリットや通学事情を参考に**自分にあった**選択をしてください！

担当：菅沼

編集後記

こんにちは。今年度の大学説明会パンフレット部門長を務めました、障害科学類 2 年の川辺です。人間学群のパンフレットということで、受験の体験記やら学生生活やら、人間学群の感じが分かるような中身をお届けしたつもりですが、いかがでしたでしょうか。最後のこの文章までどれだけの方にお読みいただいているのかはわかりませんが、このパンフレットを通して少しでも良い情報提供ができたなら、編集者としては大変嬉しく思います。

さて、今年度のパンフレットの記事については、ほとんどが学群 1 年生の執筆したものとなっています。おそらく感染症の影響を最も直接的に受け、受験に関しては特に振り回された代です。入試制度が変わり、世間も落ち着かない中で、それぞれが置かれた状況で努力しつづけて来たのだなと思うと、純粋に尊敬の気持ちがわいてきます。安易に「大変だったね」だの「つらかったね」だの言うつもりはありませんが、彼らの努力の記録が体験記やアンケートの結果として残るのは、有益なことだと感じられました。パンフレット部門長としてではありますが、そういった一つ下の代と関われる貴重な機会が持てたのは非常にありがたく思います。

すみません、少し話がそれてしまいました。本来、このパンフレットは筑波大学の人間学群に興味を持った受験生のためにあるものですね。冒頭でも少し触れましたが、中身もそれに準じたものとなっています。こうして振り返るとなかなかの量がありますが、欲しい情報は見つかりましたか？ オンライン開催でみなさんの反応が分からず、来年度以降の中身に反映しきれないのが非常に残念に思います。もしほしい情報があったなら安心ですが、もっと知りたい情報があるときや、余計だと感じる部分があるときは、問い合わせしてみてください。情報収集は正直面倒に感じられることも多いでしょうが、この大学説明会に限らず、知りたいと思ったことを言葉にしてしかるべきところに質問する、という練習はしておいてもいいと私は思います。……また話がそれましたかね、ごめんなさい。稚拙な文章にお付き合いいただきどうもありがとうございます。

そろそろこのよくわからない編集後記も終わりにしたいと思います。最後になりますが、このパンフレットの制作にお力添えいただいたすべての方に、心より感謝申し上げます。おかげさまで形になり、受験生をはじめとした方々に情報提供をすることが叶いました。本当にありがとうございます。そしてもちろん、このパンフレットに気づき、途中だけ読んだ方も、表紙の素敵な絵をご覧になった方も、もちろんこの編集後記まで読んでくださっている方も含め、読者の皆様に感謝を申し上げます。読者なくしてパンフレットは成り立ちませんからね。一学生として直接できることは皆無に等しいですが、このパンフレットの内容が皆様の意思決定の一助になることをお祈りしています。

2021 年度人間学群大学説明会パンフレット部門長
障害科学類 2 年
川辺

2021 年度人間学群大学説明会 学生パンフレット

Special thanks

鄭 仁豪先生（人間学群長）

人間学群の先生方

人間学群事務室

人間エリア支援室の方々

アンケートに協力してくれた 1 年生の皆さん

片岡さん（前年度パンフレット部門長）

隅田さん・滝口さん（学生責任者）

And you!

編集責任者：川辺

編集・著作：斉田、菅沼、石川、中田、武居、永井、宗田、松本、柴田、浜野、水流添、
郷間、羽山、木村、山本、安、高橋、佐久間、中村、宮田、上野、荻野、
池上、河村、菅野、稲生

発行：2021 年度人間学群大学説明会パンフレット部門

本パンフレットに記載されている情報は、筑波大学、および人間学群が公式に認めたものではありません。本パンフレットに含まれる情報から生じた不利益、損害につきましては、その責任を負いかねますのでご注意ください。